AXIS 5800
ユーザーズマニュアル

2001 年 9 月発行　第 1 版

R1.0

安全のために

本製品を安全にご利用頂くために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告！	データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。
重要：	操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。
警告	この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

異常時の処理について

警告	万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	万一、本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて

⚠警告

本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。

本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。

弊社の指示がない限り、本装置を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

弊社の指示がない限り、本装置のケースを外さないでください。電源部や内部に触れると火傷、感電、故障の原因となります。

ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。

電源について

⚠警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ(プラグ)の刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にまげたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持ってぬいてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。

設置場所について

⚠注意

直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は安全のために電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。

⚠注意

アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。

静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリ等を取り除いてください。

まえがき

Web ブラウザ

性能を十分に引き出すために、JavaScript に対応したインターネットエクスプローラ 3.0 以上、または Netscape 3.0 以上の Web ブラウザを使用してください。

その他の商標

AIX、Apple、DOS、Ethernet、EtherTalk、HP、IBM、JetAdmin、Java、Netscape、インターネットエクスプローラ、LAN Server、Macintosh、Microsoft、Novell NetWare、OS/2、PostScript、UNIX、Windows、その他このマニュアルに記載のプログラム、規格などの商品名、または製品名は、一般的に各社の商標、または登録商標です。

Bluetooth の商標

Bluetooth™ は、その商標権者が所有しており、アクシスコミュニケーションズはライセンスに基づき使用しています。

責任

Axis は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また Axis は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。Axis は、Axis 製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。Axis は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切いたしません。

電波に関する注意

本製品の分解または改造は違法行為にあたりますので、絶対におやめください。

本製品は電波を利用します。電波の特性上、本製品をご使用いただく場所によって通信可能な距離やデータ転送の容量が異なります。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などなにかお困りなことが起きたときは、アクシスコミュニケーションズサポートセンターへお問い合わせください。

技術基準等適合認定について

本製品は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線局の無線設備として適合認定を受けています。認証番号は、本体裏面に記載しています。

電波に関する適合性（EMC）

米国 - This equipment generates and radiates radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference in which case the user at his own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference.

欧州 - This digital equipment fulfils the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022/1994, and the requirements for immunity according to EN55024/1998 residential, commercial, and light industry (Compliance is not valid for unshielded network and printer cables).

Radio Transmission Regulatory information

CE 0682 ⓘ

Tested to comply with FCC Standards FOR HOME OR OFFICE USE.

This product must be installed and used in strict accordance with the instructions given in the user docu mentation. The AXIS 5800 complies with the following radio frequency and safety standards:

Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada

Europe - EU Declaration of Conformity

This device complies with the requirements of the R&TTE Directive 1999/5/EC with essential test suites as per standards:

EN 60950 Safety of Information Technology equipment

ETS 300 328 Technical requirements for radio equipment

ETS 300 826 General EMC requirements for radio equipment

USA - Federal Communications Commission FCC

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation of the device is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference that may cause undesired operation.

このマニュアルについて

AXIS 5800 をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。AXIS 5800 は、お使いのプリンタをネットワーク上に自由に接続し、すべてのネットワークユーザが共有プリンタを利用できるようにします。

このマニュアルは、製品ソフトウェア（ファームウェア）リリース 6.21 以降を搭載した AXIS 5800 に適用されます。

このマニュアルに記載されている手順は、初めて AXIS 5800 **を使用する際に必要となる設定に基づいています。**既に使用している AXIS 5800 をこの手順にしたがって設定する場合は、まず AXIS 5800 を工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。詳しくは、94 ページ「工場出荷時の デフォルト設定」を参照してください。

このマニュアルには、基本的な情報、および様々なネットワーク環境における AXIS 5800 のインストール、また管理方法が記載されています。このマニュアルを最大限に活用するには、ネットワークの基礎知識が必要となります。

Axis について

Axis Communications は、ネットワークに接続されたコンピュータ周辺機器に対する革新的なソリューションを提供します。1984 年の創立以来、市場においても最も急速に成長している企業の一つであり、この分野におけるリーダー的存在です。

ThinServer™ テクノロジ

ThinServer テクノロジにより、Axis 製品はファイルサーバに依存しない、インテリジェントな ThinServer デバイスとして動作します。ThinServer デバイスは、マルチプロトコル通信、スケーラブルな RISC ハードウェア、標準的な Web ブラウザを利用した簡単なアクセスおよび管理を可能にする、内蔵 Web サーバ機能を備えた「スリム」なサーバソフトウェアを含むネットワークサーバです。ThinServer テクノロジは、様々な電子デバイスをネットワークに接続することを可能にし、「あらゆるものへのアクセス」を提供します。

Mobile Access by Axis

AXIS 9010は、Axisが提供する高速なワイヤレス接続が可能なエリア、「ホットスポット」を作成するネットワークアクセスソリューションの一つです。ホットスポットは、Bluetooth テクノロジを備えたモバイルデバイスのためのローカルネットワークおよびインターネットへの無線による通信リンクを提供します。Bluetooth ワイヤレステクノロジは業界から支援されているテクノロジの一つであり、ポータブル機器間の近距離無線データ通信に対応するための、低コストな手段を提供します。Axis は、ネットワークへアクセスするデバイスからより大きく、より進んだシステムへと拡大する、これから必要とされる接続エリアを満たすための、新しいモバイルネットワークとサービスを提供します。

ネットワークプリントサーバ

ネットワーク上でプリンタを共有する、強力かつ経済性に優れた手段を提供します。標準的なプリンタと接続し、高性能かつ簡単な管理、さらにネットワーク経由でのアップグレードなどの機能を特徴としています。ネットワークプリントサーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版があります。

ネットワーク CD-ROM サーバ

ネットワーク上で CD-ROM を共有するための、柔軟でコストパフォーマンスの高いソリューションを提供します。CD-ROM サーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版があります。

ネットワークカメラサーバ

標準的なインターネット技術を利用し、お使いの Web ブラウザからカメラサーバにアクセスしてライブ画像を楽しむことを可能にします。インターネットを利用したリモート監視を行うためのソリューションを提供するとともに、そのシャープな画像は Web サイトに活気をもたらします。カメラサーバは、イーサネットおよびファーストイーサネット、公衆電話回線に対応しています。

ネットワークドキュメントサーバ

ネットワークを利用し、紙をベースとした情報を簡単に配布することを可能にします。読み込んだドキュメントをインターネット / イントラネット経由で送信することにより、ファックスおよび郵便のコスト削減や作業時間の短縮など、組織の作業効率の向上に役立ちます。

サポートサービス

インターネットがご利用になれる場合は、技術サポート情報、更新された製品ソフトウェア（ファームウェア）、ユーティリティソフトウェア、会社情報など、Axis のホームページでご覧いただけます。

WWW:	http://www.axiscom.co.jp/

その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、info@axiscom.co.jp までご連絡ください。

AXIS 5800 ユーザーズマニュアル 第 1 版

Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、2001 2001 年 9 月

目次

第 1 章　はじめに 1
- 対応する環境 2

第 2 章　製品の概要 3
- パッケージの内容 3
- AXIS Online CD 3
- AXIS 5800 のハードウェア 概要 3
- プリントサーバの使用方法 5
- 機能と利点 5

第 3 章　AXIS 5800 の新機能 7
- Auto-IP 7
- Bluetooth ワイヤレステクノロジ 7
- IPP（Internet Printing Protocol） 8
- 複数言語の表示に対応 8
- ネットワークの速度 8

第 4 章　基本インストール 9
- インストール手順 9
- ネットワークに接続する 10
- IP アドレスの割り当て 12
- プリントサーバの設定 - インストールガイド 20

第 5 章　セットアップ - Windows 23
- AXIS Print Monitor を利用する 23
- Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う 25
- Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う 27
- Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う 31
- Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う 34

第 6 章　セットアップ - NetWare 39
- AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ 40
- 印刷方法 42

第 7 章 セットアップ - Macintosh 43
セレクタを利用したインストール 43
プリンタの選択 44

第 8 章 セットアップ - UNIX 49
UNIX 環境でのインストール 49
TCP/IP ネットワークにおける印刷方法 52

第 9 章 ワイヤレス印刷 55
Bluetooth を利用した印刷 56

第 10 章 設定と管理 61
Web ブラウザを利用する 62
Bluetooth の設定 67
Bluetooth に関するトラブルシューティング 68
各種設定 69
論理プリンタを利用する 70
FTP を利用する 77
Telnet を利用する 80
SNMP を利用する 83
ノベル社のユーティリティを利用する 85

第 11 章 IPP - Internet Printing Protocol 87

第 12 章 ソフトウェアの更新 91
ファームウェアをアップグレードする 91
更新されたソフトウェアを入手する 92

第 13 章 テストボタン 93

第 14 章 技術仕様 95

付録 A パラメータリスト 99

付録 B 保証について 109

付録 C 用語集 111

第 1 章　はじめに

AXIS 5800 は、有線のネットワークおよび無線を利用した印刷が可能なプリントサーバです。

AXIS 5800 プリントサーバ

AXIS 5800 プリントサーバは Bluetooth ワイヤレステクノロジを採用し、Bluetooth 印刷機能を備えたノート PC などの他の Bluetooth デバイスからの印刷を可能にします。

詳しくは、56 ページ「Bluetooth を利用した印刷」を参照してください。

対応する環境

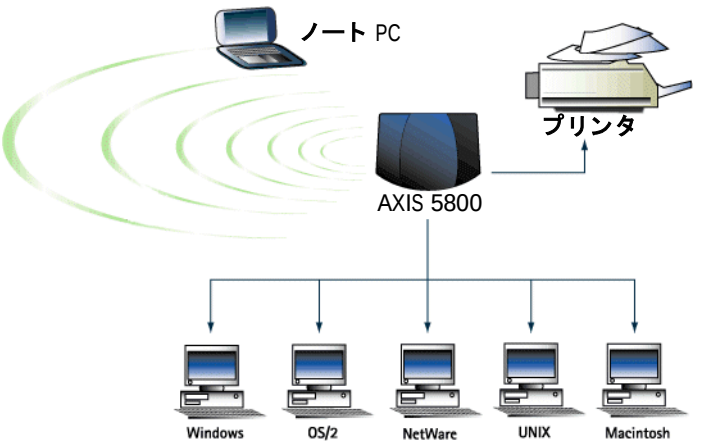
有線による ネットワーク印刷

- Windows
- NetWare
- UNIX
- OS/2
- Macintosh
- インターネット / イントラネットを経由した JavaScript に対応する Web ブラウザ

ワイヤレス印刷

- Bluetooth ワイヤレステクノロジ

詳しくは、56 ページ「Bluetooth を利用した印刷」を参照してください。



無線および有線ネットワークの混在環境における AXIS 5800

第 2 章　製品の概要

パッケージの内容

以下のリストを利用して、AXIS 5800 のパッケージ内容を確認してください。不足しているものや、破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

名称
AXIS 5800
外部電源アダプタ（PS-D）/ 部品番号：14254
AXIS Online CD
お客様登録カード

オプションアクセサリ
パラレルプリンタケーブル / 部品番号：13360
延長用パラレルプリンタケーブル / 部品番号：13522

AXIS Online CD

AXIS Online CD には、ユーティリティソフトウェア、ユーザーズマニュアル（PDF 形式）、および PDF 形式のファイルを閲覧するための Adobe Acrobat Reader が含まれます。

AXIS 5800 のハードウェア 概要

AXIS 5800 プリントサーバ外観図

ネットワークコネクタ - AXIS 5800 は、10Mbps イーサネットおよび 100 Mbps ファーストイーサネットネットワーク用に設計されており、ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル（10BASE-T、100BASE-TX）を利用してネットワークに接続します。AXIS 5800 は、ローカルネットワークセグメントの速度（10Mbps または 100Mbps）を自動的に検知する機能を備えています。

プリンタポート - AXIS 5800 は、高速 IEEE1284 互換パラレルポートを 2 つ備えています。どちらのポートにも標準的なプリンタを接続することができます。印刷データは、2 つのポートのどちらにでも同時に送ることが可能で、利用するプロトコルにかかわらず 2 台のプリンタを同時に使用することができます。

テストボタン - テストボタンは、以下の作業に利用します。

- プリンタとの接続を確認するために、テストページを印刷する。
- AXIS 5800 の設定内容を示すパラメータリストを印刷する。
- AXIS 5800 のパラメータを、工場出荷時のデフォルト設定にリセットする。

注意： ❑ PostScript ファイル、また ASCII テキストを印刷できないプリンタの場合、テストページは印刷できません。

Network **インディケータ** - Network インディケータが点滅し、ネットワークのトラフィックを示します。

Power **インディケータ** - Power インディケータは、電源が供給されている時に点灯します。点灯しない場合、また点滅する場合は、AXIS 5800 または外部電源アダプタに問題があります。

Bluetooth **アンテナ** - Bluetoth によるデータ伝送に使用します。Bluetooth は 2.4GHz の周波数帯域を利用し、伝送速度は最大で 723K ビット / 秒です。印刷時に最大のパフォーマンスを得るために、アンテナが天井を指すように向きを調整してください。

プリントサーバの使用方法

インストールと接続

AXIS 5800 のインストール、およびネットワークへの接続は、AXIS Online CD に含まれる Axis クライアントソフトウェアを利用して行います。

- AXIS Print Monitor - Windows 環境でネットワークプリンタの設定および管理が行えます。
- AXIS NetPilot - Windows 環境で、NetWare 環境へのプリントサーバのインストール、設定および管理が行えます。
- axinstall - UNIX 環境でネットワークプリンタの設定を行えます。

注意：

- ❑ AXIS 5800 は、Axis クライアントソフトウェアを使用せずに Macintosh 環境にインストールできます。
- ❑ AXIS 5800 は、Netware アドミニストレータを利用して NetWare 環境にインストールできます。

設定と管理

AXIS 5800 は Web サーバを内蔵しています。この内蔵 Web サーバにより、TCP/IP 上の HTTP を利用して Web サーバに含まれる内部 Web ページから直接 プリントサーバの設定、管理が行えます。Web ブラウザを利用して AXIS 5800 にアクセスすることにより、対応するすべてのネットワーク環境に適した、プラットフォームに依存しない管理を実現します。詳しくは、62 ページ「Web ブラウザを利用する」を参照してください。

機能と利点

信頼性

AXIS 5800 は、優れたパフォーマンスと信頼性、さらに低消費電力という特徴を持っています。電子回路には 32 ビット RISC プロセッサと、関連するネットワークコントローラで構成される AXIS ETRAX 100 チップを採用しています。

柔軟性

AXIS 5800 は、無線、および有線によるネットワークを利用した印刷に対応しています。主要なコンピュータシステム、またほとんどのコンピュータ環境に対応しています。さらに、2 台のプリンタで同時に印刷を実行できます。IPP（Internet Printing Protocol）機能は、インターネットのような WAN（Wide Area Network）を経由した LAN から LAN への印刷を可能にします。

機動性

AXIS 5800 は、無線および有線によるネットワークの両方で動作するネットワークプリントサーバです。AXIS 5800 はモバイルユーザに対し、ユーザがどこにいても最新の情報を印刷できる自由を提供します。AXIS 5800 のインストール、操作、および管理は、他の Axis プリントサーバと同じように確実かつ簡単です。

スピード

AXIS ETRAX 100 チップは LAN 製品のために設計され、PC とプリンタを直接接続した場合よりもより高速なスループットを提供します。

簡単なインストール

AXIS 5800 は、無線または有線のネットワークに数分でインストールすることができます。

セキュリティ

ログイン、およびプリンタへのアクセス（FTP を利用する場合）の両方を制限するパスワードを設定できます。

監視

AXIS 5800 の内部 Web ページを利用して、プリンタのステータスを監視することができます。

AXIS 5800 は、リモート監視のために SNMP にも対応しています。

将来への対応

AXIS 5800 は、ネットワークを経由したフラッシュメモリのアップグレードが可能です。新しい製品ソフトウェア（ファームウェア）がリリースされた時には、ファームウェアの素早い更新と、お使いの AXIS 5800 の操作性の向上を実現します。

第 3 章　AXIS 5800 の新機能

この章では、AXIS 5800 の新しい機能について説明します。これらの機能は、AXIS 5800 に組み込まれているファームウェアに実装されています。ファームウェアは、Axis のホームページから無料でダウンロードすることができます。詳しくは、91 ページ「ファームウェアをアップグレードする」を参照してください。

Auto-IP

ファームウェアバージョン 6.21 の新機能

Auto-IP 機能により、プリントサーバをネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスの割り当てが行われます。ネットワーク上で DHCP サーバを利用できる場合、AXIS 5800 はネットワークに接続されるとすぐに DHCP サーバから IP アドレスを受け取ります。DHCP サーバが動作していない場合、AXIS 5800 は Auto-IP 機能によって自動的に IP アドレスを割り当てられます。Auto-IP 機能はデフォルトで有効になっています。ユーザによる設定は特に必要はありません。

Auto-IP 機能が利用するデフォルトの IP アドレスは、169.254.xxx.xxx になります。

Auto-IP 機能は、AXIS 5800 の DHCP パラメータが有効になっている場合のみ動作します。また、購入したばかりの AXIS 5800 のインストール時に、この機能は自動的に有効に設定されます。

AXIS 5800 を工場出荷時のデフォルト設定にリセットし、プリントサーバが再起動した時に DHCP が利用できなかった場合、Auto-IP 機能によって IP アドレスの割り当てが行われます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジ

ファームウェアバージョン 6.21 の新機能

Bluetooth ワイヤレステクノロジを採用することにより、AXIS 5800は一般的なプリンタをノートPCなどのモバイルデバイスから印刷することが可能な、ワイヤレスの印刷ステーションへと変化させます。詳しくは、56 ページ「Bluetooth を利用した印刷」を参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）

ファームウェアバージョン 6.21 の新機能

AXIS 5800 は、インターネットを越えてリモートプリンタへの印刷が行える、業界標準の IPP（Internet Printing Protocol）を採用しています。

IPP を利用すれば、インターネットに接続してインターネット上のプリンタに印刷を実行することができます。IPP はプラットフォームに依存せず、TCP/IP をサポートする LAN または WAN で使用できます。詳しくは、87 ページ「IPP - Internet Printing Protocol」を参照してください。

複数言語の表示に対応

ファームウェアバージョン 6.21 の新機能

AXIS 5800 の内部 Web ページは、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語で表示することができます。デフォルトの設定では、英語で表示されます。詳しくは、64 ページ「言語の設定」を参照してください。

ネットワークの速度

ファームウェアバージョン 6.21 の新機能

ネットワーク速度のパラメータ（NETWORK_SPEED）を利用して、データ送受信の速度を手動で設定することができます。お使いのネットワークに合わせて、ネットワークスピードの設定を変更してください。詳しくは、69 ページ「ネットワーク速度」を参照してください。

第 4 章　基本インストール

インストール手順

3 ページ「パッケージの内容」に示されている付属品がすべてそろっていることを確認できたら、AXIS 5800 のインストールを開始してください。

以下の手順にしたがって、AXIS 5800 プリントサーバを有線のネットワークにインストールしてください。

- 10 ページ「ネットワークに接続する」を参考に、ケーブル類の接続を行います。
- 12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参考に、AXIS 5800 プリントサーバに IP アドレスを割り当てます。
- 20 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」を参考に、AXIS 5800 の設定を行います。

ネットワークに接続する

以下の手順にしたがって、AXIS 5800 を付属の外部電源、お使いのプリンタ、ネットワークに接続してください。

警告！ ❑ **AXIS 5800 に付属の外部電源アダプタが、専用の PS-D アダプタであることを確認してください。**

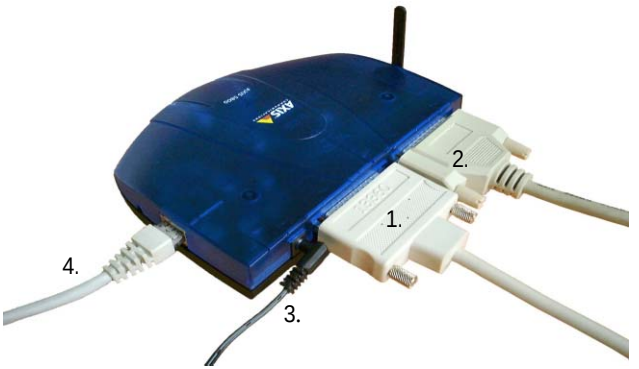
1. 使用するプリンタの電源が切れていること、さらに AXIS 5800 の外部電源アダプタがまだ接続されていないことを確認します。
2. AXIS 5800の底面ラベルに記載されているシリアル番号を控えてください。プリントサーバの IP アドレスを設定する際に、このシリアル番号が必要になります。
3. 適切なプリンタケーブルを使用して、AXIS 5800 の LPT1 または LPT2 ポートにプリンタを接続します。Bluetooth アンテナが、上方向を指すように調整してください。
4. ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル（10BASE-T、または 100BASE-TX）を使用して、AXIS 5800 をネットワークに接続します。
5. プリンタの電源を入れ、AXIS 5800 の外部電源アダプタを接続します。Network インディケータが点滅し、AXIS 5800 が正しくネットワークに接続されたことを示します。
6. そのままの状態で 1 分ほど待ちます。AXIS 5800 のテストボタンを押して、テストページを印刷します。プリンタと AXIS 5800 が正しく接続されていれば、AXIS 5800 の内部テストページが印刷されます。テストページには、ネットワーク速度、ファームウェアバージョンなどの重要なパラメータが含まれます。テストページが印刷されない場合は、93 ページ「テストページ」を参照してください。

注意： ❑ **プリンタが PostScript ファイル、または ASCII テキストファイルを印刷できない場合は、テストページは印刷できません。**

7. AXIS 5800 の設定および管理を行うには、Web ブラウザから AXIS 5800 の内部 Web ページにアクセスします。内部 Web ページにアクセスするには、IP アドレスが必要になります。ネットワーク上で DHCP サーバが動作している場合は、AXIS 5800 をネットワークに接続した時に自動的に IP アドレスが割り当てられます。IP アドレスは、手順 6 で印刷したテストページに印刷されます。ネットワーク上で DHCP サーバが動作してない場合は、手動で AXIS 5800 に IP アドレスを割り当てる必要があります。詳しい手順については、12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

注意：

- AXIS 5800 への IP アドレスの割り当てが DHCP で行われなかった場合、Auto-IP 機能によって一時的な IP アドレス（169.254.xxx.xxx）が割り当てられます。この一時的な IP アドレスを変更するには、12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。



1. LPT1 プリンタポート / パラレルポート
2. LPT2 プリンタポート / パラレルポート
3. 外部電源コネクタ
4. ネットワークコネクタ（10BASE-T、100BASE-TX）

AXIS 5800 のケーブル接続図

IP アドレスの割り当て

AXIS 5800 の内部 Web ページを利用して設定および管理を行うには、AXIS 5800 に IP アドレスを割り当てる必要があります。以下の手順にしたがって、AXIS 5800 に IP アドレスを割り当ててください。

始める前に

システム権限

Windows NT Server から IP アドレスの設定を行う場合は、Administrator 権限が必要になります。UNIX システムから IP アドレスの設定を行う場合は、root 権限が必要になります。

物理アドレス

IP アドレスの割り当てを行うには、AXIS 5800 の物理アドレスが必要になります。物理アドレスは、AXIS 5800 の底面ラベルに記載されているシリアル番号に基づいています。たとえば、00408C100086 というシリアル番号を持つ AXIS 5800 の物理アドレスは、00 40 8C 10 00 86 になります。

IP アドレス

DHCP または Auto-IP 以外の方法で IP アドレスの割り当てを行う場合は、ネットワーク管理者から未使用の IP アドレスを入手する必要があります。

重要：

- AXIS 5800 をインストールする際、以下の例に使用されている IP アドレスをそのまま使用しないでください。IP アドレスの割り当てを行う前に、必ずネットワーク管理者に相談してください。

IP アドレスの設定方法

お使いのネットワーク環境に応じて、以下のいずれかの方法で AXIS 5800 の IP アドレスの設定を行うことができます。

方法	ネットワーク環境	参照ページ
DHCP	Windows NT/2000	15 ページ「DHCP を利用する」
ARP	Windows 95/98/NT/2000/Me	16 ページ「Windows で ARP を利用する」
	UNIX	17 ページ「UNIX で ARP を 利用する」
RARP *	UNIX	18 ページ「UNIX で RARP を 利用する」
BOOTP *	UNIX	19 ページ「UNIX で BOOTP を利用する」
Auto-IP *	Windows 98/2000/Me	16 ページ「Auto-IP」

* AXIS 5800 の IP アドレスは自動的に設定されます。

注意：

- ARP および RARP のよる設定方法は、単一のネットワークセグメント上でのみ動作します。ルータを越えて利用することはできません。
- ARP および PING の組み合わせによる IP アドレスの設定方法は、AXIS 5800 の再起動直後の 10 分間だけ有効となります。
- Macintosh 環境での IP アドレスの設定方法については、46 ページ「パラメータを 設定する」を参照してください。

ホスト名の関連付け

動的なIPアドレスの設定が可能なネットワーク上でAXIS 5800 のホスト名を登録する場合、WINS（Windows Internet Name Service）および DDNS（Dynamic Domain Naming System）を利用することができます。常に DHCP を利用して IP アドレスの設定を行う場合は、WINS または DDNS のどちらかを利用することをお勧めします。

AXIS 5800 のホスト名は、PS_NAME パラメータで設定できます。詳しくは、99 ページ「付録 A パラメータリスト」を参照してください。

WINS の制限

WINS は最長 15 文字のホスト名に対応しています。ホスト名が 15 文字以上の場合、AXIS 5800 は 15 文字を超える部分を切り捨てて WINS サーバにホスト名を登録します。WINS サーバに登録された AXIS 5800 のホスト名は、AXIS 5800 の内部 Web ページで確認することができます。

DDNS の規則

DDNS は最長 47 文字のホスト名に対応しています。使用できる文字は、「A-Z」、「a-z」、「0-9」、およびハイフン（-）です。これ以外の文字を使用した場合、DDNS サーバに登録するときに使用できない文字はすべてハイフン（-）に変換されます。DDNS サーバに登録された AXIS 5800 のホスト名は、AXIS 5800 の内部 Web ページで確認することができます。

もしホスト名が DDNS データベース内の他のエントリと一致した場合、AXIS 5800 はホスト名の登録を行う前にそのエントリを削除します。

注意：

- WINS サーバと DDNS サーバに同じホスト名を登録する場合、ホスト名に使用できる文字数は 15 文字、使用できる文字は「A - Z」、「a-z」、「0-9」およびハイフン（-）になります。
- ホスト名の名前解決については、お使いのシステムのマニュアルを参照するか、ネットワーク管理者に相談してください。

DHCP を利用する

以下の手順にしたがって、DHCP を利用して IP アドレスの割り当てを行います。

1. DHCP マネージャで、スコープの編集または作成を行います。スコープに含まれるパラメータは、以下のとおりです。
   - IP アドレスの範囲
   - サブネットマスク
   - デフォルトゲートウェイの IP アドレス
   - WINS サーバの IP アドレス、または DDNS サーバの IP アドレス
   - リース期間
2. スコープをアクティブにします。AXIS 5800 は、再起動すると自動的に DHCP パラメータを読み込みます。WINS または DDNS を利用している場合、DHCP スコープに WINS または DDNS サーバの IP アドレスを最低でも一つ含める必要があります。AXIS 5800 は IP アドレスを受け取るとすぐに、WINS または DDNS サーバに AXIS 5800 のホスト名と IP アドレスを登録します。詳しくは、13 ページ「ホスト名の関連付け」を参照してください。AXIS 5800 は、TFTP（Trivial File Transfer Protocol）サーバからカスタマイズされた config ファイル（AXIS 5800 の設定ファイル）を自動的に読み込むことができます。DHCP スコープに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加してください。AXIS 5800 は IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファイルを読み込みます。
3. AXIS 5800 の IP アドレスが設定されました。続いて、20 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

注意： ❑ IP アドレスを読み込むには、AXIS 5800 を再起動する必要があります。

Auto-IP

Auto-IP は、DHCP サーバが利用できない場合に IP アドレスを設定する、もう一つの方法です。

ネットワーク上で DHCP サーバが動作している場合、AXIS 5800 はネットワークに接続されるとすぐに DHCP サーバから IP アドレスを受け取ります。DHCP サーバから IP アドレスを受け取れなかった場合、AXIS 5800 は Auto-IP によって IP アドレスを割り当てられます。Auto-IP は、デフォルトで 169.254.xxx.xxx の IP アドレスを使用します。詳しくは、7 ページ「Auto-IP」を参照してください。

Windows で ARP を利用する

以下の手順にしたがって、ARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. DOS 窓（コマンドプロンプト、DOS プロンプト）を開きます。
2. 以下のコマンドを実行します。

```
arp -s IP アドレス 物理アドレス
ping IP アドレス
arp -d IP アドレス
```

例：

```
arp -s 192.168.3.191 00-40-8c-10-00-86
ping 192.168.3.191
arp -d 192.168.3.191
```

ホストから `Reply from 192.168.3.191 ...` のような応答が返ります。これにより、アドレスが設定され、さらに通信が確立したことが分かります。

3. AXIS 5800 の IP アドレスが設定されました。続いて、20 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

注意：

- Windows 95 環境で ARP を使用する場合は、コマンドの最初の行を以下のように変更してください。*Win95 ホスト IP アドレス* は、お使いのコンピュータの IP アドレスです。

  `arp -s` *IP アドレス 物理アドレス Win95 ホスト IP アドレス*

- 初めて ping コマンドを実行した場合、反応があるまでに通常よりも長い時間がかかることがあります。
- ARP と PING を利用した IP アドレスの設定方法は、AXIS 5800 の起動直後の 10 分間だけ有効になります。

- ❑ arp -d コマンドを実行すると、ホストのキャッシュメモリから ARP テーブルの static エントリが削除されます。

UNIX で ARP を利用する

以下の手順にしたがって、ARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. シェルウィンドウで以下のコマンドを実行してください。

```
arp -s ホスト名 物理アドレス temp
ping ホスト名
```

例：

```
arp -s npsname 00:40:8c:10:00:86 temp
ping npsname
```

2. ホストは、npsname is alive のような応答を返します。これにより、アドレスが設定され、さらに通信が確立したことが分かります。
3. AXIS 5800 の IP アドレスが設定されました。続いて、20 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

注意：

- ❑ ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名のエントリに IP アドレスを入力してください。
- ❑ ARP コマンドの書式は、UNIX システムによって異なる場合があります。ある種の BSD 系システムは、ホスト名と物理アドレスの順番が逆である必要があります。また、IBM AIX システムは、追加の引数 ether を必要とします。

例：

```
arp -s ether ホスト名 00:40:8c:10:00:86 temp
```

- ❑ 初めて ping コマンドを実行した場合、反応があるまでに通常よりも長い時間がかかることがあります。
- ❑ ARP と PING を利用した IP アドレスの設定方法は、AXIS 5800 の起動直後の 10 分間だけ有効になります。

UNIX で RARP を利用する

以下の手順にしたがって、RARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. お使いのシステムの物理アドレステーブル（通常、/etc/ethers）に、以下の行を追加します。

物理アドレス ホスト名

例：

```
00:40:8c:10:00:86 npsname
```

2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していない場合は、RARP デーモンを起動します。これは、一般的に `rarpd -a` コマンドを利用して実行します。
4. AXIS 5800 を再起動し、IP アドレスを設定します。
5. AXIS 5800 の IP アドレスが設定されました。続いて、20 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

注意：

- ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名のエントリに IP アドレスを入力してください。
- IBM AIX をお使いの場合は、おそらく RARP デーモンが用意されていません。その場合は、代わりに ARP または BOOTP のいずれかの方法を利用してください。
- IP アドレスを設定するには、AXIS 5800 を再起動する必要があります。

UNIX で BOOTP を利用する

以下の手順にしたがって、BOOTP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. お使いのシステムのブートテーブル（通常、/etc/bootptab）に、以下の行を追加します。

```
ホスト名 :ht= ハードウェアタイプ :vm= ベンダマジック :\
:ha= ハードウェアアドレス :ip=IP アドレス :\
:sm= サブネットマスク :gw= デフォルトゲートウェイ
```

例：

```
npsname:ht=ether:vm=rfc1048:\
:ha=00408c100086:ip=192.168.3.191:\
:sm=255.255.255.0:gw=192.168.1.1
```

2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していない場合は、BOOTP デーモンを起動します。これは、一般的に `bootpd` コマンドを利用して実行します。
4. AXIS 5800 を再起動し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。AXIS 5800 は、TFTP（Trivial File Transfer Protocol）サーバからカスタマイズされた config ファイル（AXIS 5800 の設定ファイル）を自動的に読み込むことができます。DHCP スコープに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加してください。AXIS 5800 は IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファイルを読み込みます。
5. AXIS 5800 の IP アドレスが設定されました。続いて、20 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

- ht と vm のフィールドは、例に示されているとおりに入力してください。
- ha フィールドは、物理アドレスまたはノードアドレスです。ip フィールドは、AXIS 5800 の IP アドレスです。
- gw と sm フィールドは、デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの値になります。
- ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名のエントリに IP アドレスを入力してください。
- IP アドレスを設定するには、AXIS 5800 を再起動する必要があります。

プリントサーバの設定 - インストールガイド

設定方法　AXIS 5800 に IP アドレスを設定したら、以下のいずれかの方法で AXIS 5800 の管理および設定を行うことができます。お使いのプリンタ、ネットワーク環境に合った方法を利用してください。以下の表を参考に、適切な方法を選択してください。

環境	ネットワーク設定	参照先
ワイヤレス印刷		55 ページ「第 9 章 ワイヤレス印刷」
Windows 95/98/Me	TCP/IP	23 ページ「第 5 章 セットアップ - Windows」
	NetBIOS/NetBEUI	
Windows NT	TCP/IP	31 ページ「Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う」
Windows 2000	TCP/IP	34 ページ「Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う」
	IPP	87 ページ「第 11 章 IPP - Internet Printing Protocol」
NetWare	IPX/SPX	39 ページ「第 6 章 セットアップ - NetWare」
OS/2	NetBIOS/NetBEUI	Axis のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）を参照してください。
Macintosh	AppleTalk	43 ページ「第 7 章 セットアップ - Macintosh」
UNIX	TCP/IP	49 ページ「第 8 章 セットアップ - UNIX」

インストールと管理ツール

AXIS 5800 の管理および設定には、適切なインストールツールを利用してください。以下の表に、概要を示します。

環境	プロトコル	ツール
Windows 95/98/Me	TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI	AXIS Print Monitor
Windows NT	TCP/IP	Windows NT の機能を使用
Windows 2000	TCP/IP、IPP	Windows 2000 の機能を使用
NetWare	IPX/SPX	Axis NetPilot NetWare アドミニストレータ
Macintosh	AppleTalk	セレクタを使用
UNIX	TCP/IP	axinstall

各 OS で推奨するツール

第 5 章　セットアップ - Windows

AXIS 5800 をネットワークに接続するには、10 ページ「ネットワークに接続する」の手順にしたがってください。この章では、AXIS 5800 を Windows 環境にインストールする手順について、説明します。以下の表を参考に、お使いの環境に適した方法でインストールを行ってください。

Windows 環境	プロトコル	参照先
Windows 95 Windows 98 Windows Me	TCP/IP	23 ページ「AXIS Print Monitor を利用する」 27 ページ「Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う」
	NetBIOS/NetBEUI	23 ページ「AXIS Print Monitor を利用する」 25 ページ「Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う」
Windows NT 4.0 Windows 2000	TCP/IP	31 ページ「Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う」 34 ページ「Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う」

複数のプロトコルが存在する環境で AXIS 5800 を使用する場合は、以下の章も参照してください。

39 ページ「第 6 章　セットアップ - NetWare」
43 ページ「第 7 章　セットアップ - Macintosh」
49 ページ「第 8 章　セットアップ - UNIX」

注意：

- OS/2 環境でのご利用については、Axis のホームページを参照してください。

AXIS Print Monitor を利用する

AXIS Print Monitor は、AXIS Online CD に含まれています。また、Axis のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）からダウンロードすることができます。

AXIS Print Monitor は、Windows 95、Windows 98、Windows Me 環境でネットワーク印刷を行うためのツールです。AXIS Print Monitor により、ローカルプリンタポートにインストールされているプリンタを利用するのと同じように、簡単に AXIS 5800 を利用できるようになります。また、AXIS Print Monitor は、一度インストールされると、システムの起動時に自動的に立ち上るようになります。

AXIS Print Monitor のインストール

AXIS Print Monitor は、AXIS Online CD に含まれています。[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] フィールドに以下のように入力してください (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)。

```
D:¥software¥pm_np¥pm3011j.exe
```

ウィザードの手順にしたがって、インストールを行ってください。インストールの手順について詳しくは、付属の「補足資料」を参照してください。

AXIS Print Monitor とは

AXIS Print Monitor は、Windows 95、98、Me 環境でピアツーピア印刷を行うために開発された Windows コンポーネント (DLL) です。プリントジョブを AXIS 5800 に直接送ることができます。

ピアツーピア印刷

ピアツーピア印刷を行う場合、それぞれの PC に AXIS Print Monitor をインストールする必要があります。一度 AXIS Print Monitor をインストールすると、お使いの PC に直接接続されているプリンタにアクセスするかのように、ネットワーク上のすべてのプリンタにアクセスできます。ピアツーピア印刷には、以下のような利点があります。

- エラー状態をポップアップメッセージで表示することにより、お使いのプリンタの状態を簡単に監視することができます。
- 他のサーバに頼る必要がありません。

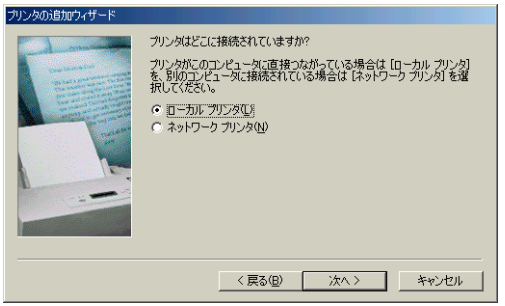
注意：

- ❑ AXIS Print Monitor を利用して DOS 窓 (MS-DOS プロンプト) から印刷することはできません。

Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う

以下の手順にしたがって、AXIS NetBIOS/NetBEUI Port を利用するプリンタをインストールしてください。

1. Windows の［スタート］メニューから、［設定］-［プリンタ］を選択します。［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［プリンタの追加ウィザード］を開始します。
2. 最初の画面で［次へ］をクリックします。ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。AXIS 5800はローカルポートとして振る舞うため、［ローカルプリンタ］を選択します。［次へ］をクリックします。



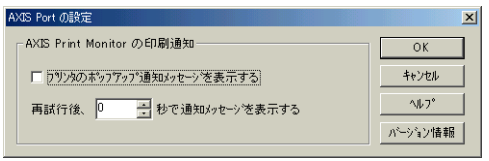
3. 製造元とプリンタの一覧からプリンタに適したプリンタドライバを選択し、［次へ］をクリックして手順 6 へ進んでください。利用するプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、手順 4 へ進んでください。

注意： ❑ **製造元からプリンタドライバが提供されている場合は、そのドライバを使用することをお勧めします。**

4. ［ディスク使用］をクリックします。ドライバの保存されたフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。適切なドライブを選択し、［OK］をクリックします。
5. インストールするプリンタドライバを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

6. ［利用可能なポート］リストから、AXIS Port を選択してください。ポート名は、*名前.LP1*、*名前.LP2* のように表示されます。*名前* は、AX の後に AXIS 5800 のシリアル番号の下 6 桁の英数字を続けたもので、「AX100086.LP1」のように表示されます。［ポートの設定］ボタンをクリックします。

7. プリンタのエラー状態を示すポップアップメッセージを表示する場合は、［AXIS Port の設定］ダイアログボックスに表示されるチェックボックスをオンにします。また、再試行後にどのくらいの頻度でエラーメッセージを表示するか、定義してください。［OK］をクリックします。



8. 適切なプリンタの名前を入力し、［次へ］をクリックします。

9. テストページを行うかどうか選択し、［完了］をクリックします。

AXIS NetBIOS/NetBEUI Port を利用するプリンタがインストールされました。

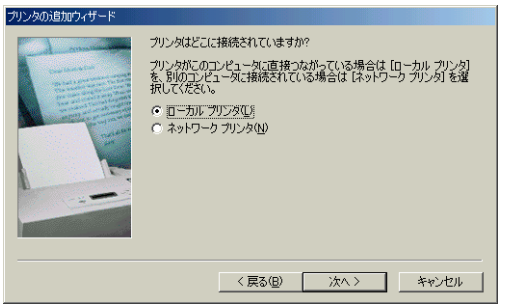
Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う

TCP/IP 印刷を行うには、AXIS 5800 に IP アドレスを割り当てておく必要があります。IP アドレスの割り当てについては、12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

LPR Port を利用するプリンタのインストール

以下の手順にしたがって、Windows 95、98、Me 環境に AXIS LPR Port を利用するプリンタをインストールしてください。

1. Windows の［スタート］メニューから、［設定］-［プリンタ］を選択します。［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［プリンタの追加ウィザード］を開始します
2. 最初の画面で［次へ］をクリックします。ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。AXIS 5800はローカルポートとして振る舞うため、［ローカルプリンタ］を選択します。［次へ］をクリックします。



3. 製造元とプリンタの一覧からプリンタに適したプリンタドライバを選択し、［次へ］をクリックして手順 6 へ進んでください。利用するプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、手順 4 へ進んでください。

注意： ❑ **製造元からプリンタドライバが提供されている場合は、そのドライバを使用することをお勧めします。**

4. ［ディスク使用］をクリックします。ドライバの保存されたフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。適切なドライブを選択し、［OK］をクリックします。
5. インストールするプリンタドライバを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

6. ［利用可能なポート］リストから、AXIS Port を選択してください。ポート名は「LPT1@192.168.0.101」のように、*ポート名@ IP アドレス*、または*ポート名@ホスト名* の形式で表示されます。新しい LPR Port をインストールする場合は、Printers@TCP/IP ポートを選択し、手順 10. 以降の設定も行ってください。

7. ［ポートの設定］ボタンをクリックします。［AXIS LPR Port の設定］ダイアログボックスを開きます。プリンタのエラー状態をポップアップメッセージ表示するかどうかを選択します。また、再試行後、どのくらいの頻度でエラーメッセージを表示するかどうか定義します。設定後、［OK］をクリックします。

注意：

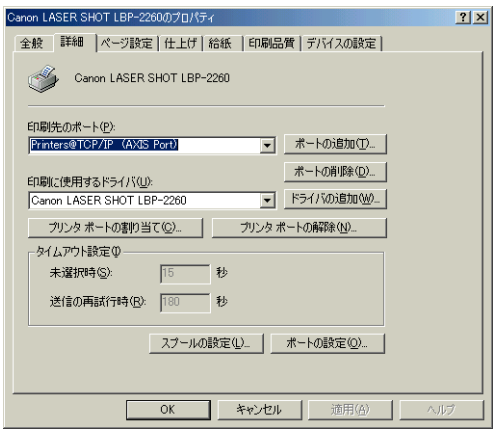
- Printers@TCP/IP ポートは、印刷のために利用することはできません。したがって、設定することもできません。

8. ［次へ］をクリックします。適切なプリンタの名前を入力し、［次へ］をクリックします。

9. テストページを行うかどうか選択し、［完了］をクリックします。

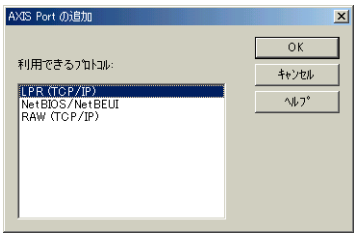
手順 6. で Printers@TCP/IP を選択し、新しい LPR Port にプリンタをインストールする場合は、以下の手順にしたがってください。

10. 定義したプリンタは、［プリンタ］フォルダに表示されます。プリンタオブジェクトをマウスの右ボタンでクリックし、ショートカットメニューから［プロパティ］を選択します。［プリンタのプロパティ］ウィンドウから［詳細］タブを選択します。

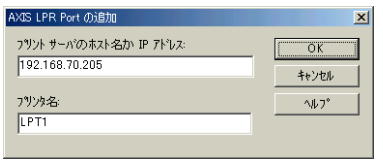


11. ［ポートの追加］をクリックし、利用できるポートを表示します。ポートの種類から［その他］を選択し、リストから［AXIS Port］を選択します。［OK］をクリックします。

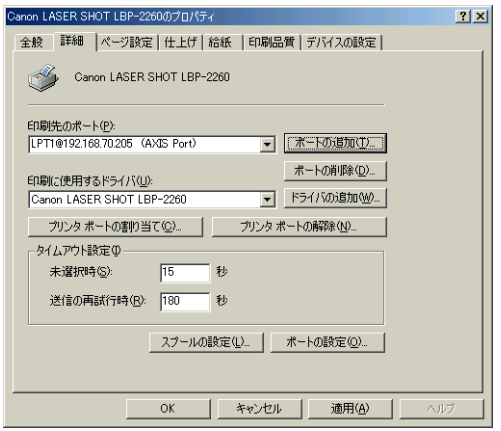
12. ネットワークプロトコルから［LPR（TCP/IP）］を選択し、［OK］をクリックします。



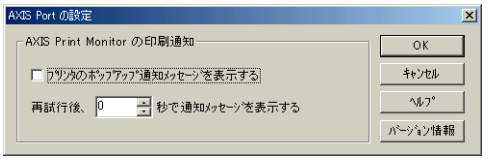
13. AXIS 5800 の IP アドレス（またはホスト名）、および適切なプリンタ名を入力します。［OK］をクリックします。



14. 新しい LPR Port が、利用できるポートのリストに自動的に追加されます。［OK］をクリックします。



15. 手順 7. の説明にしたがって、ポートの設定を行います。［OK］をクリックします。



16. ［OK］をクリックして［プリンタのプロパティ］ウィンドウを閉じます。

AXIS LPR Port を利用するプリンタがインストールされました。

Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う

Windows NT 4.0 付属の LPD モニタを利用する

この項目では、Windows NT に付属の LPD モニタを利用して TCP/IP プロトコル上で LPR/LPD 印刷を行うための、設定方法を説明します。

基本設定

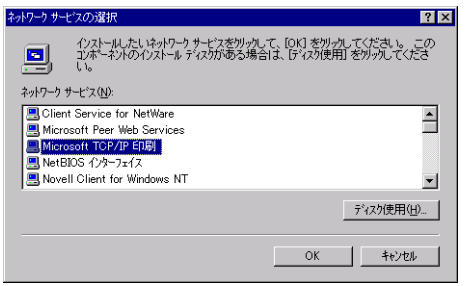
LPD 印刷のためのプリンタのインストールを行う前に TCP/IP の基本的な設定を行ってください。

LPR/LPD 印刷の準備

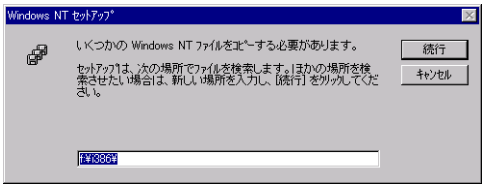
コントロールパネルを開き、［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。［サービス］タブの一覧に、［Microsoft TCP/IP 印刷］が表示されている場合は、LPR/LPD 印刷機能がインストールされています。［ネットワーク］ダイアログボックスを閉じ、32 ページ「LPD プリンタを インストールする」に進んでください。

以下の手順にしたがって、TCP/IP プロトコルをインストールしてください。

1. ［コントロールパネル］を開き、［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。
2. ［サービス］タブを選択します。
3. ［追加］ボタンをクリックします。［ネットワークサービスの選択］画面で［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックします。



4. ［Windows NT セットアップ］ダイアログが表示されます。適切な場所を指定して［続行］をクリックします。

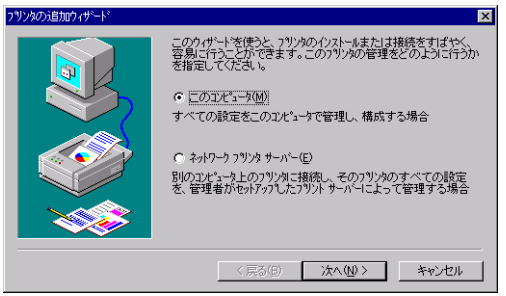


5. ［閉じる］をクリックして［ネットワーク］ウィンドウを閉じます。
6. 再起動を求める画面が表示されたら、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。

LPD プリンタをインストールする

以下の手順にしたがって、LPD 印刷のためのプリンタをインストールします。

1. ［コントロールパネル］を開き、［プリンタ］フォルダをダブルクリックします。
2. ［プリンタの追加］をクリックします。次の画面で［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックします。



3. ［ポートの追加］をクリックします。利用可能なプリンタポートの一覧から［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

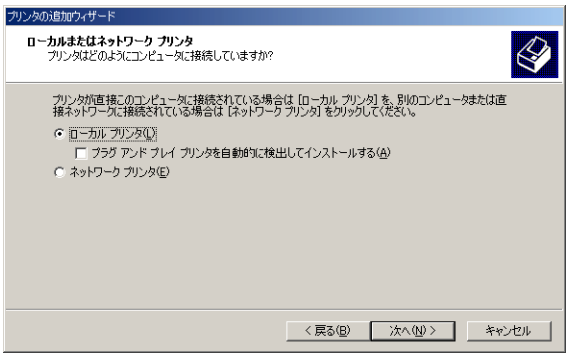
4. ［LPR　互換プリンタの追加］ダイアログボックスで、LPDを提供するプリントサーバとして、AXIS 5800のホスト名、または IP アドレスを入力します。また、サーバのプリンタ名、またはプリンタキュー名として *LPT1* などを入力し、［OK］をクリックします。［閉じる］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。［次へ］をクリックします。

5. 利用するプリンタに合った適切なプリンタドライバを選択します。［次へ］をクリックします。
6. プリンタ名を入力し、［次へ］をクリックします。
7. プリンタを共有するかどうか指定し、［次へ］をクリックします。
8. テストページを印刷するかどうか指定し、［次へ］をクリックします。
9. ［完了］をクリックします。

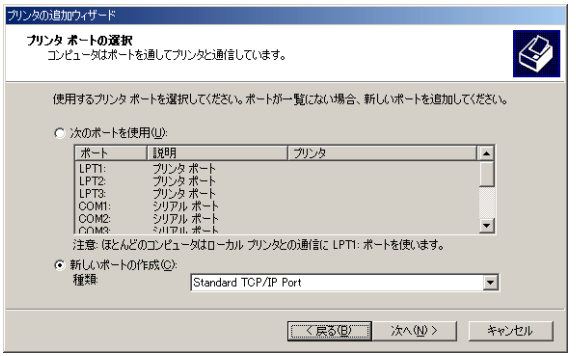
Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う

この項目では、Windows 2000 に付属の標準 TCP/IP 印刷サービスを利用して TCP/IP プロトコル上で印刷を行うための設定方法を説明します。TCP/IP 印刷サービスは、Windows 2000 のインストール時に標準でインストールされます。

1. Administrator の権限で Windows 2000 にログオンします。
2. ［スタート］メニューから、［設定］-［プリンタ］を選択します。
3. ［プリンタの追加アイコン］をダブルクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。［次へ］をクリックします。
4. ローカルまたはネットワークプリンタの選択画面が表示されます。［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

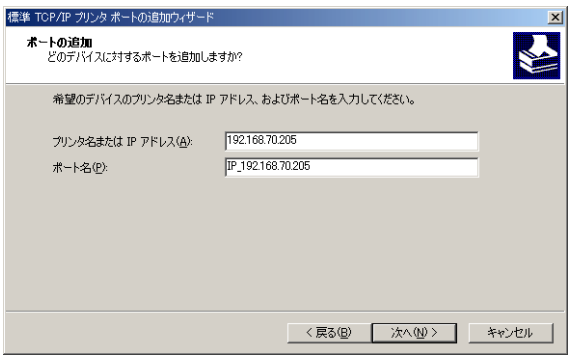


5. プリンタポートの選択画面で、［新しいポートの作成］を選択します。［種類］フィールドから、［Standard TCP/IP Port］を選択し、［次へ］をクリックします。

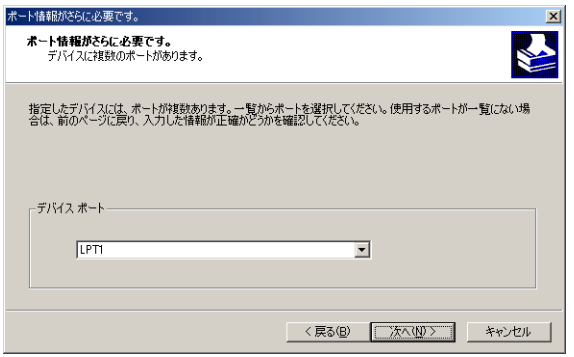


6. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動します。［次へ］をクリックします。

7. ポートの追加画面が表示されます。［プリンタ名または IP アドレス］フィールドに、AXIS 5800 のホスト名または IP アドレスを入力します。［ポート名］フィールドは AXIS 5800 のポート名ではなく、これから作成するポート自身の名称です。任意に入力することもできますが、自動で設定されますので、そのまま［次へ］をクリックしてください。



8. ポート情報に関する画面が表示されます。プリンタが接続されているポートを選択し、［次へ］をクリックします。



9. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの終了画面が表示されます。［完了］をクリックします。

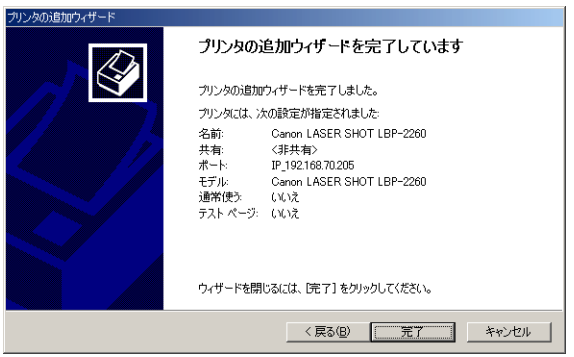
10. プリンタの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。利用するプリンタに合った、適切な製造元とモデルを選択してください。［次へ］をクリックします。

11. プリンタ名を入力する画面が表示されます。利用するプリンタの名前を入力し、［次へ］をクリックします。

12. プリンタの共有を指定する画面が表示されます。共有する場合は、ネットワーク上で表示するプリンタの共有名を指定してください。［次へ］をクリックします。

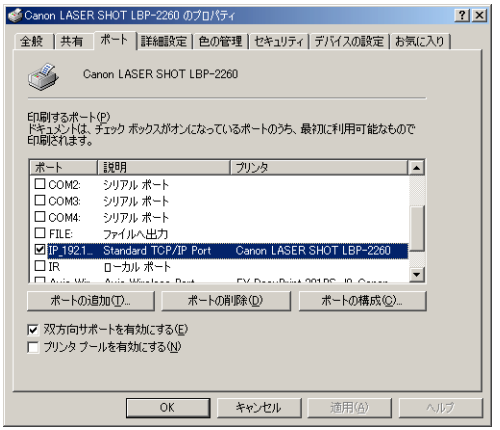
13. テストページの印刷画面が表示されます。［いいえ］を選択して［次へ］をクリックします。

14. プリンタの追加ウィザードの完了画面が表示されます。［完了］をクリックします。



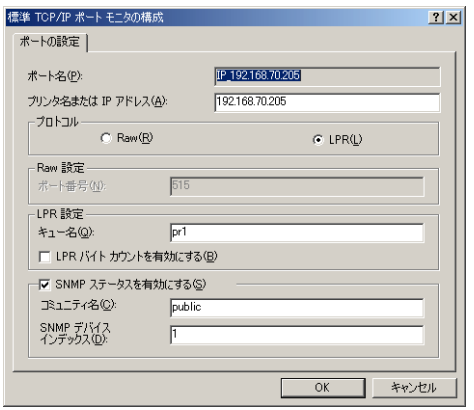
15. ［スタート］メニューから、［設定］-［プリンタ］を選択します。［プリンタ］フォルダに、作成したプリンタのアイコンが表示されます。

16. 作成したプリンタアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから［プロパティ］を選択します。プリンタのプロパティ画面で、［ポート］タブをクリックします。



17. 作成したポートが選択されているのを確認し、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

18. ［標準 TCP/IP ポートモニタの構成］画面が表示されます。［プロトコル］オプションで［LPR］が選択され、［LPR 設定］の［キュー名］フィールドに適切なポート名が表示されていることを確認してください。正しくない場合は設定を変更してください。［OK］をクリックします。



注意： ❑ **手順 9、標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了画面で、アダプタの種類として「Axis Print Server」以外が表示された場合は、これらの設定が正しくありませんので、必ず設定を確認してください。**

プリントサーバがデフォルト設定のままの場合は、次の値が入ります。

- **LPT1 にプリンタを接続している場合**：LPT1 または pr1
- **LPT2 にプリンタを接続している場合**：LPT2 または pr2

19. プリンタのプロパティ画面で、［全般］タブをクリックします。［テストページの印刷］ボタンをクリックし、印刷ができることを確認します。

第 6 章　セットアップ - NetWare

この章では、NetWare 環境への AXIS 5800 のインストール方法について説明します。

インストール方法	プロトコル	参照
AXIS NetPilot	NetBEUI IPX/SPX	40 ページ「AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ」

AXIS 5800 をマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 5 章　セットアップ - Windows」
43 ページ「第 7 章　セットアップ - Macintosh」
49 ページ「第 8 章　セットアップ - UNIX」

注意：

- OS/2 環境でのご利用については、Axis のホームページを参照してください。

AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ

AXIS Online CD に含まれている、AXIS NetPilot をインストールしてください。［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択し、［名前］フィールドに以下のように入力してください（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）。

```
D:¥software¥pm_np¥pm3011j.exe
```

ウィザードの手順にしたがって、インストールを行ってください。NetPilot をインストールする場合は、インストール方法で「カスタム」を選択してください。インストールの手順について詳しくは、付属の「補足資料」を参照してください。AXIS NetPilot は、Windows 95、98、NT、Me に対応しています。

AXIS 5800 をインストールする

以下の手順にしたがって、AXIS NetPilot を利用して AXIS 5800 をインストールしてください。

1. ［スタート］メニューから、［プログラム］-［AXIS ユーティリティ］-［NetPilot］-［AXIS NetPilot］を選択します（インストールの際に指定したディレクトリによって、メニューの名称が異なる場合があります）。
2. ［未設定 AXIS プリントサーバ］フォルダをクリックします。右側に表示されるプリントサーバの一覧からインストールするプリントサーバをクリックして選択し、［インストール］ボタンをクリックします。ご利用のネットワークの規模が大きい場合、プリントサーバの検索に時間がかかる場合があります。
3. ［インストレーションウィザードを使ってインストールする］オプションを選択し、［OK］をクリックします。以下の画面が表示されます。

インストレーションウィザードの手順にしたがって、以下のオプションを設定してください。

注意： ❑ **お使いの環境によって、利用できるオプションが異なります。**

プリントサーバ名

デフォルトのプリントサーバ名は、「AXIS」の後にシリアル番号の下 6 桁を続けた英数字になります。プリントサーバ名を変更する場合は、新しい名前を指定してください。

環境

AXIS 5800 を設定するネットワーク環境（NetWare、TCP/IP、Windows、OS/2、AppleTalk）を選択します。ご利用のネットワークが複数のプラットフォームで構成される場合は、任意の組み合わせによる環境を有効にすることができます。

NetWare NDS

NDSツリー中、あるいは、特定のバインダリサーバ上にNetWareプリントキューを置きます。

IP アドレス

AXIS 5800 が IP アドレスを取得する方法を選択します。DHCP、ARP、RARP、BOOTP に対応しています。また、手動で IP アドレスを設定することもできます。

プリントキュー

AXIS 5800 は、プリントサーバ名にプリンタポートの名前を続けたものをデフォルトのプリントキュー、またはプリントサーバポート名に使用します。デフォルトのプリントキュー名を変更する場合は、新しい名前を指定してください。

環境	デフォルト名
NetWare	AXIS180B90_LPT1_Q AXIS180B90_LPT2_Q
Windows、OS/2	AX180B90.LP1 AX180B90.LP2
AppleTalk	AXIS180B90_LPT1 AXIS180B90_LPT2

各 OS 環境におけるデフォルトの
プリントキュー名とプリントサーバポート名

管理者用パスワード

管理者用のパスワードを設定すると、プリントサーバの設定を変更する際にパスワードの入力が必要になります。

テストページ

NetWare 経由でテストページを印刷するかどうか選択することができます。テストページは、AXIS 5800 が接続するすべての NetWare サーバ名を表示し、個々の接続のステータスを示します。

追加のプリントキューを接続・作成しない場合は、これで NetWare 環境でのインストールは完了です。

注意：

- ❑ インストレーションウィザードで入力したパラメータは、必要に応じていつでも変更することができます。
- ❑ インストレーションウィザードの設定中に誤ったパラメータを設定してしまっても、問題はありません。印刷結果に満足できない場合は、必要に応じてパラメータの調整を行うことができます。

印刷方法

以下に、NetWare 環境で対応している二種類の印刷方法の長所と短所について説明します。

プリントサーバモード

AXIS 5800 はファイルサーバにログインし、プリントジョブに対するプリントキューを繰り返しポーリングします。このように、AXIS 5800 は NetWare プリントサーバ、つまり PSERVER が動作するワークステーションをエミュレートします。このモードは、ネットワークに負荷をかけない高速印刷を提供します。PSERVER モードの AXIS 5800 は、それぞれ NetWare ライセンスを一つ必要とします。

長所

- 高速。一般的には、1 M バイト / 秒まで。

短所

- バインダリモードでは、ファイルサーバとの接続のために個々の AXIS 5800 に対して NetWare ユーザライセンスを一つ必要とします。

リモートプリンタモード

AXIS 5800 は、ファイルサーバで動作する PSERVER プログラム（NLM）や PSERVER.EXE が動作する専用のワークステーションに接続します。そして、ファイルサーバから自動的にプリントジョブを受け取ります。このように、AXIS 5800 は、NetWare リモートプリンタソフトウェア RPRINTER、あるいは、NPRINTERが動作するワークステーションをエミュレートします。このモードは、NetWare ユーザライセンスの数が大きな問題となるような、小さなネットワークに対してのみ推奨されます。

長所

- NetWare ユーザライセンスを必要としない。

短所

- 低速。一般的には、NLM の場合で 20 ～ 70K バイト / 秒。
- ネットワークの負荷が高くなる。

第 7 章　セットアップ - Macintosh

この章では、AppleTalk を利用して Macintosh 環境で印刷を行う手順について、説明します。

AXIS 5800 をマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 5 章　セットアップ - Windows」
39 ページ「第 6 章　セットアップ - NetWare」
49 ページ「第 8 章　セットアップ - UNIX」

注意：

- OS/2 環境でのご利用については、Axis のホームページを参照してください。

セレクタを利用したインストール

基本設定

AppleTalk 環境での基本設定は、セレクタから使用するプリンタを選択して行います。

AXIS 5800 のデフォルト名の変更、また config ファイルを編集して他のデフォルトのパラメータを変更することができます。Macintosh から AXIS 5800 の config ファイルにアクセスするには、以下の方法があります。

- Java を利用できる Web ブラウザ
- FTP アプリケーション（MacTCP、Fetch、Anarchie など）

これらの方法を利用する場合は、AXIS 5800 に IP アドレスを割り当てておく必要があります。詳しくは、46 ページ「パラメータを 設定する」を参照してください。

プリンタの選択

プリンタを選択する

プリンタを選択する方法は、お使いの LaserWriter プリンタドライバのバージョンによって異なります。

- LaserWriter 7.x ドライバは、標準的な PostScript ドライバを利用するものと想定し、プリンタ固有の機能を利用することはできません。
- The LaserWriter 8.x ドライバは、プリンタの情報を記述した PPD を利用します。よって、プリンタが持つ機能を制御することができます。

LaserWriter 7.x プリンタドライバ

以下の手順にしたがって、プリンタを選択してください。

1. アップルメニューからセレクタを選択します。
2. LaserWriter アイコンをクリックします。
3. お使いのネットワークに複数のゾーンがある場合、利用するゾーンをクリックします。ゾーンがない場合は、ゾーンのボックスは現れません。
4. 利用するプリンタをクリックして選択します。AXIS 5800 のプリンタ名は、デフォルトで AXIS*xxxxxx*_ *ポート*、のように表示されます。*xxxxxx* は、AXIS 5800 のシリアル番号の下 6 桁、*ポート*は、LPT1 または LPT2 が表示されます。たとえば、AXIS100086_LPT1 のようになります。
5. クローズボックスをクリックします。設定が完了し、セレクタが閉じられます。

上記の手順を、AXIS 5800 を利用するネットワーク上の Macintosh コンピュータでそれぞれ行います。

LaserWriter 8.x プリンタドライバ

以下の手順にしたがって、プリンタを選択してください。

1. アップルメニューからセレクタを選択します。
2. LaserWriter 8.x アイコンをクリックします。
3. お使いのネットワークに複数のゾーンがある場合、利用するゾーンをクリックします。ゾーンがない場合は、ゾーンのボックスは現れません。

4. 利用するプリンタをクリックして選択します。AXIS 5800 のプリンタ名は、デフォルトで AXIS*xxxxxx*_ *ポート名*、のように表示されます。*xxxxxx* は、AXIS 5800 のシリアル番号の下 6 桁、*ポート名*は、LPT1 または LPT2 が表示されます。たとえば、AXIS100086_LPT1 のようになります。
5. ［作成］をクリックします（ボタンの名前は、LaserWriter ドライバのバージョンによって異なります）。選択したプリンタが双方向印刷に対応し、さらに適切な PPD ファイルが利用できる場合は、インストール作業は自動的に行われるため、手順 7 へ進むことができます。それ以外の場合は、手順 6 で説明されているように、PPD ファイルを手動で選択する必要があります。
6. お使いのプリンタに合った PPD ファイルを選択し、［選択］をクリックします。お使いのプリンタが PPD ファイルのリストにない場合は、お使いのプリンタの販売元にお問い合わせください。プリンタ固有の機能が必要ない場合は、一般設定を使用してください。
7. ［OK］をクリックし、クローズボックスをクリックします。設定が完了し、セレクタが閉じられます。

上記の手順を、AXIS 5800 を利用するネットワーク上の Macintosh コンピュータでそれぞれ行います

双方向サポート

AXIS 5800 は、プリンタドライバがプリンタと直接通信できるようにします。これにより、プリントジョブの制御が容易になります。たとえば、プリンタに内蔵されていないフォントの自動ダウンロードが可能になります。

古いプリンタやMacintoshコンピュータとの互換性も提供されます。つまり、接続されたプリンタが双方向通信をサポートしない場合、AXIS 5800 は、Macintosh からのプリンタに関する問い合わせに対して適切な応答を生成することができます。

セットアップの確認

選択したプリンタとの通信を確認するには、Macintosh コンピュータから単純に何かドキュメントを印刷してみてください。印刷テストが思い通りのものである場合は、基本的なインストールは完了したと考えることができます。これで、AXIS 5800 は、プリントサーバとして利用する準備ができました。

ASCII、TBCP、および BCP

ASCII（American Standard Code for Information Interchange）は、インターネット上のコンピュータで最も一般的なテキストファイルのためのフォーマットです。ASCII ファイルでは、英数字や特殊記号は 7 ビットで表されます。128 文字が割り当てられています。

TBCP（Tagged Binary Communication Protocol）と BCP（Binary Communication Protocol）は、プリンタのシリアルポートとパラレルポートで利用される通信プロトコルです。これらのプロトコルでは、ファイル中、通信やプリントジョブの制御のために 8 ビットバイナリデータを利用することができます。TBCP は、ある種のプリンタ、たとえば HP 社のプリンタでバイナリデータストリームを利用して印刷するために必要とされています。

パラメータを設定する

AppleTalk では、AXIS 5800 のパラメータのいくつかを変更することができます。

- **使用するバイナリ転送プロトコルのタイプを選択する**（BINARY_TYPE_1、BINARY_TYPE_2 **パラメータ**）
- AppleTalk **のプリンタタイプを指定する**（ATYPE1、ATYPE2 **パラメータ**）
- IP **アドレスを設定する**（INT_ADDR **パラメータ**）

お使いの AXIS 5800 に IP アドレスを割り当てると、標準的な Web ブラウザや FTP を利用してプリントサーバのすべてのパラメータにアクセスすることができるようになります。詳しくは、61 ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。

以下の例では、AppleTalk で AXIS 5800 のパラメータを設定する方法を説明します。

重要： お使いの AXIS 5800 を設定する際、この例のパラメータ値をそのまま利用しないでください。お使いのプリンタやネットワーク設定に対して適切な値を選択する必要があります。

以下の手順にしたがってください。

1. セレクタを開きます。
2. ネットワークプリンタドライバを選択します。LaserWriter なら何でも構いません。
3. 名前が「_CFG」で終わるプリンタポートを選択します。
4. セレクタを閉じます。
5. テキストエディタ、たとえば SimpleText を開きます。

6. 設定したいパラメータを含むテキストファイルを作成します。

```
BINARY_TYPE_1.      :BCP
INT_ADDR.           :192.168.3.191
ATYPE_1.            :EPSONLQ2
```

設定したくないパラメータは、テキストファイルに入れる必要はありません。個々のパラメータの有効値については、99 ページ「付録 A パラメータリスト」を参照してください。

7. テキストファイルを印刷します。設定は、プリントサーバ内に保存されます。
8. セレクタを開き、ドキュメントを印刷するために利用するプリンタポートを選択します。
9. セレクタを閉じます。

注意：

- _CFGポートは、AXIS 5800の電源を入れてから1時間後に見えなくなります。再び見えるようにする場合は、AXIS 5800 を再起動する必要があります。

第 8 章　セットアップ - UNIX

UNIX 環境でのインストール

12 ページ「IP アドレスの割り当て」の手順にしたがって TCP/IP の基本設定を完了すれば、LRP、FTP、ReverseTelnet を利用した印刷が可能になります。

まずは、AXIS 5800 をホストのスプーラに統合する必要があります。この作業には、*axintall* を利用することができます。このユーティリティソフトウェアは AXIS 5800 に常駐し、FTP を利用してホストにスクリプトをダウンロードするので、ディスクを必要としません。*axinstall* スクリプトは AXIS Online CD に含まれています。

この作業を終了すると、AXIS 5800 はまるでホストプリンタスプーラに直接接続されているかのように見えるようになります。

マルチプロトコル環境で AXIS 5800 を利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 5 章　セットアップ - Windows」
39 ページ「第 6 章　セットアップ - NetWare」
43 ページ「第 7 章　セットアップ - Macintosh」

注意：

- OS/2 環境でのご利用については、Axis のホームページを参照してください。

ホストのプリンタスプーラへの組み込み

AXIS 5800 をホストのプリンタスプーラに統合するには、中にある自動インストールスクリプト *axinstall* を利用することができます。以下の手順にしたがい、FTP を利用してお使いのホストにこのスクリプトを転送してください。

1. 以下のコマンドを利用して AXIS 5800 にログインします。

   `ftp` *ホスト名* または `ftp` *IP アドレス*

2. ユーザ ID として `root`、パスワードとして `pass` を入力します。

3. 以下のコマンドを利用してスクリプトを転送します。

   `get axinstall`

お使いの FTP のバージョンにより、`quit`、`bye`、`exit` コマンドを利用してログアウトします。

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 5800 Mobile FTP Print Server v6.21 Sep 4 2001 ready.
Name (npsserver:thomas): root
331 User name ok, need password
Password: pass                    (見えません)
230 User logged in
ftp> get axinstall
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for axinstall
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
local: axinstall remote: axinstall
61187 bytes received in 14 seconds (4.2 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
>
```

axinstall スクリプトを転送するための典型的な FTP セッション

これで、お使いのホストに *axinstall* スクリプトが転送されました。以下のコマンドを利用してスクリプトを実行します。

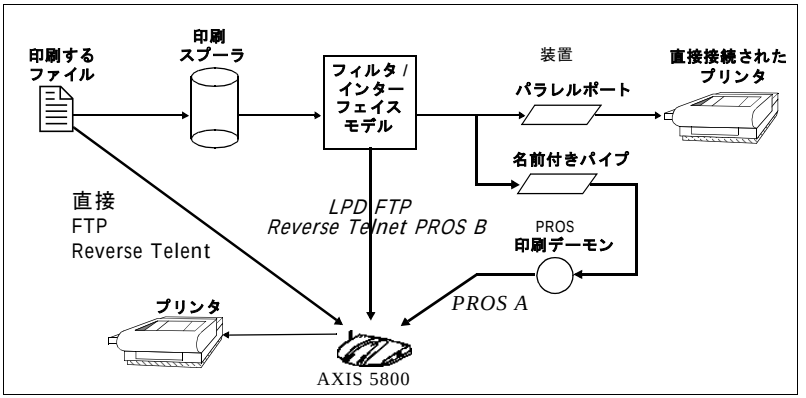
```
sh axinstall
```

手順が示され、インストール作業がガイドされます。インストールの間に、印刷方法を選択するよう尋ねられます。LPD を選択することを推奨します。印刷方法の選択に関してガイドが必要な場合は、以降のページを参照してください。また、*axinstall* スクリプトを利用した UNIX 環境での設定の詳細は、AXIS Online CD に含まれている「補足資料」を参照してください。

TCP/IP ネットワークにおける印刷方法

AXIS 5800 は、TCP/IP 環境で利用できるいくつかの印刷方法に対応しています。*axinstall* は、特定の UNIX システムに合った印刷方法を提示しますが、印刷の用途に合った別の方法を選択することもできます。

以下の図には、UNIX での印刷方法で利用されるデータの流れが示されています。それぞれの方法には、長所と短所があります。以下の情報をもとに、どの方法を利用するか決定してください。



UNIX での印刷方法の例

LPD　LPD（Line Printer Daemon）は、ホスト間でプリントジョブを転送するためのプロトコルです。ほとんどの UNIX システムで推奨される方法ですが、System V 系 UNIX の中には LPD に対応していないものもあります。

長所：

セットアップが簡単で、System V 系 UNIX では AXIS 5800 をリモートキューとしてインストールし、BSD 系 UNIX では、`rm`、`rp` フィールドを利用して /etc/printcap にリモートプリンタを追加します。

短所：

スプーラ機能や、`printcap`、`lpr` オプション（BSD 系UNIX）、たとえば、複数コピー等が利用できません。

FTP　FTP（File Transfer Protocol）は、ホスト間でファイルを転送するために利用されます。

長所：

ホスト上の業界標準ネットワークソフトウェア（ftp コマンド）を利用できます。

短所：

プリンタのステータスログを取ることができません。BSD 系 UNIX の場合は、他の入力フィルタ、出力フィルタと共存できないか、入力または出力フィルタを両方とも利用できません。System V 系 UNIX では、フィルタもインターフェースプログラムも利用できません。

PROS　Axis で開発されたプロトコルです。名前付きパイプ（PROS A）、フィルタ（PROS B）の二種類があります。

PROS A　PROS A - **長所：**

AXIS 5800 は、システムにとってはデバイスとして見えます。これにより、フィルタやモデルオプションが利用できるようになります。アカウント統計やステータスログの取得機能が提供されます。双方向印刷に対応しています。プリンタからのリードバック情報は、ログファイル中で見ることができます。

PROS A - **短所：**

PROS A ドライバを生成するには、C コンパイラが必要になります。

PROS B　PROS B - **長所：**

アカウント統計やステータスログの取得機能が提供されます。双方向印刷に対応しています。プリンタからのリードバック情報は、ログファイル中で見ることができます。

PROS B - **短所：**

PROS B ドライバを生成するには、C コンパイラが必要になります。BSD 系 UNIX の場合は、他の入力フィルタ、出力フィルタと共存できないか、入力および出力フィルタを両方とも利用できません。System V 系 UNIX では、インターフェイスプログラムは利用できません。

Reverse Telnet

ターミナルサーバのプリンタポート経由での印刷に使用します。すでに Reverse Telnet ドライバがインストールされている場合のみ、推奨される方法です。

長所：

Reverse Telnet ドライバがインストールされていれば、セットアップは簡単です。

短所：

ステータスログを取ることができません。ドライバは AXIS 5800 には付属していません。既存のドライバは低速の場合があります。

他の UNIX システム

ほとんどの UNIX システムは、BSD 系か System V 系に似ているため、工夫をすれば、その他の UNIX に対しても解決策を考えることが可能です。

システムが BSD 系 UNIX のソケット型ネットワークサポートを持っている場合は、`prosbsd`（AXIS 5800 の `bsd` ディレクトリ内）を出発点として利用できます。これは、`stdin` からプリントデータを受け取り、`stderr` にログファイルを書き込みます。`stdout` には何も書き込みません。

あるいは、FTP が利用できるかもしれません。出発点として `bsd/ftp_bsd` や `sysv/ftp_sysv` を利用するとよいでしょう。

第 9 章　ワイヤレス印刷

AXIS 5800 は、以下の Bluetooth クライアントによるワイヤレス印刷を可能にします。

- Bluetooth Software Suite 1.07 で動作する PC カードがインストールされたノート PC が必要です。詳しくは、56 ページ「Bluetooth を利用した印刷」を参照してください。
- 対応するオペレーティングシステムは、以下の通りです。
  Windows 98
  Windows 98 SE（Second Edition）
  Windows Me（Millennium Edition）
  Windows 2000

Bluetooth Software Suite 1.07 の機能については、製品に付属するマニュアルを参照してください。

Bluetooth 印刷を簡単に行う方法

Bluetooth を利用した印刷を簡単に行うには、クイックインストレーションガイドを参照してください。

Bluetooth を利用した印刷

必要条件

- Bluetooth Software Suite 1.07、および対応する PC カードをノート PC にインストールしてください。
- ノート PC に、AXIS Wireless Printing Utility をインストールしてください。AXIS Wireless Printing Utility は、AXIS Online CD に含まれています。

AXIS Wireless Printing Utility

AXIS Wireless Printing Utility は、Bluetooth を利用してノート PC から印刷を実行する際に必要となるソフトウェアです。

インストールが完了すると、AXIS Wireless Printing Utility は Axis Wireless Port というプリンタポートを作成します。このポートを利用して、Bluetooth プリンタオブジェクトを作成してください。

Windows アプリケーションから印刷を実行する場合、AXIS Wireless Printing Utility は利用可能な Bluetooth プリンタをリストに表示します。

印刷を実行する Bluetooth プリンタを選択すると、AXIS Wireless Printing Utility は選択した Bluetooth プリンタに Bluetooth ワイヤレステクノロジを利用してプリントジョブを送信します。

AXIS Wireless Printing Utility のインストール

AXIS Online CD に含まれている、AXIS Wireless Printing Utility をインストールしてください。［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択し、［名前］フィールドに以下のように入力してください(CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)。

```
D:¥software¥awpu¥awpu110j.exe
```

ウィザードの手順にしたがって、インストールを行ってください。

Windows 98/98 SE/Me で Bluetooth プリンタを作成する

プリンタ固有の機能（両面印刷、カラーなど）を利用する場合は、各プリンタに付属するドライバを使用してプリンタオブジェクトを作成する必要があります。以下の手順にしたがって、Windows 98/98 SE/Me に Bluetooth プリンタオブジェクトを追加してください。

1. ［スタート］メニューから、［設定］-［プリンタ］を選択します。［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを開始します。
2. 最初のページで［次へ］をクリックします。ローカルプリンタ、またはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。AXIS Wireless Printing Utility はローカルプリンタポートとして振る舞うため、［ローカルプリンタ］を選択します。［次へ］をクリックします。
3. プリンタに適したプリンタドライバを選択します。製造元とプリンタの一覧に適切なプリンタドライバが表示された場合は、使用するドライバを選択して［次へ］をクリックし、手順 6 へ進んでください。適切なドライバが表示されない場合は、手順 4 へ進んでください。

注意： ❑ **製造元とプリンタの一覧に使用するプリンタドライバが表示された場合でも、プリンタにドライバが付属している時はそのドライバを利用してください。**

4. ［ディスク使用］ボタンをクリックします。ドライバの含まれているフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。適切なドライブを指定して、［OK］をクリックします。
5. 利用するプリンタドライバを選択し、インストールを実行します。［次へ］をクリックします。
6. ［利用可能なポート］リストから、AXIS Wireless Port を選択します。
7. プリンタに適当な名前をつけ、［次へ］をクリックします。
8. テストページを印刷するかどうか選択し、［完了］をクリックします。

Windows 2000 で Bluetooth プリンタを作成する

プリンタ固有の機能（両面印刷、カラーなど）を利用する場合は、各プリンタに付属するドライバを使用してプリンタオブジェクトを作成する必要があります。以下の手順にしたがって、Windows NT/2000 に Bluetooth プリンタオブジェクトを追加してください。

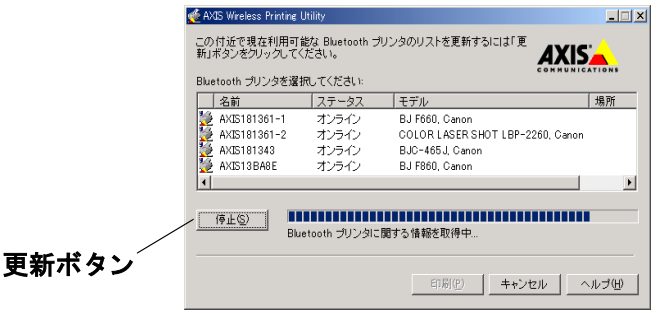
1. ［スタート］メニューから、［設定］-［プリンタ］を選択します。［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを開始します。最初のページで［次へ］をクリックします。
2. このコンピュータ、またはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。AXIS Wireless Printing Utility はローカルプリンタポートとして振る舞うため、［このコンピュータ］を選択します。
3. ［利用可能なポート］リストから、AXIS Wireless Port を選択します。
4. プリンタに適したプリンタドライバを選択し、［次へ］をクリックして手順 8 へ進んでください。リストに利用するドライバが表示されない場合は、手順6へ進んでください。

注意： ❑ **製造元とプリンタの一覧に使用するプリンタドライバが表示された場合でも、プリンタにドライバが付属している時はそのドライバを利用してください。**

5. ［ディスク使用］ボタンをクリックします。ドライバの含まれているフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。適切なドライブを指定して、［OK］をクリックします。
6. 利用するプリンタドライバを選択し、インストールを実行します。［次へ］をクリックします。
7. プリンタに適当な名前をつけ、［次へ］をクリックします。
8. ネットワーク上の他のユーザとプリンタを共有するかどうか選択します。［次へ］をクリックします。
9. テストページを印刷するか選択し、［完了］をクリックします。

ノート PC から印刷を実行する

1. Windows アプリケーションのメニューから、［ファイル］-［印刷］を選択します。
2. ［印刷］ダイアログボックスに表示される利用可能なプリンタの一覧から、作成した **Bluetooth プリンタ**を選択して［OK］をクリックします。
3. AXIS Wireless Printing Utility が起動し、Bluetooth プリンタの検索を開始します。検索が終了すると、通信可能な範囲内にある Bluetooth プリンタがリストに表示されます。検出されたプリンタはソフトウェアのメモリに保存され、次に印刷を実行するときに同じように表示されます。ノート PC の場所を移動した時など、再度プリンタの検索を行う場合は、AXIS Wireless Printing Utility の［更新］ボタンをクリックしてください。
4. 利用するプリンタを選択し、［印刷］をクリックしてください。



AXIS Wireless Printing Utility メイン画面

5. 印刷環境の画面が表示されたら、［閉じる］をクリックして画面を閉じてください。

注意： ❑ **印刷の完了画面は必ず閉じてください。この画面を閉じないと、次のワイヤレス印刷を実行できません。**

第 10 章　設定と管理

AXIS 5800 が提供する設定・管理ツールを利用すると、以下のことが行えます。

- config ファイルを編集し、プリントサーバのパラメータを変更する
- プリントジョブに関する拡張情報を取得する
- プリンタポートのステータスを取得する
- プリンタを監視する
- AXIS 5800 を工場出荷時の状態に戻す
- AXIS 5800 のファームウェアをアップグレードする（詳しくは、91 ページ「第 12 章　ソフトウェアの更新」を参照してください）

設定の概要

AXIS 5800 を設定・管理する方法は、ネットワークで利用しているオペレーティングシステムとプロトコルによって異なります。以下の表に、AXIS 5800 が対応するそれぞれの環境において、設定・管理で使用する方法について示します。

プロトコル（OS）	設定・管理方法
TCP/IP（UNIX、Windows 95/98/NT/2000/Me）	62 ページ「Web ブラウザを利用する」 77 ページ「FTP を利用する」 80 ページ「Telnet を利用する」 83 ページ「SNMP を利用する」
IPX/SPX（NetWare）	40 ページ「AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ」 85 ページ「ノベル社のユーティリティを利用する」
AppleTalk（MacOS）	62 ページ「Web ブラウザを利用する」

Web ブラウザを利用する

AXIS 5800 に有効な IP アドレスを設定すれば、Java が利用できる Web ブラウザから自由に AXIS 5800 の内部 Web ページにアクセスできるようになります。IP アドレスの設定については、12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

AXIS 5800 の内部 Web ページは、ユーザモードと管理者モードの二種類に分かれています。

ユーザモード

ユーザモードでは、パラメータの細かい設定を行うことはできません。ユーザモードは、管理者権限を持たないユーザが、プリントジョブやプリンタのプロパティを内部 Web ページで確認するためのページです。プリントサーバの設定を変更する場合は、管理者モードに入る必要があります。

管理者モード

管理者モードでは、プリントサーバのすべてのパラメータにアクセスし、自由に設定を変更することができます。管理者モードはネットワーク管理者のためのページで、権限のないユーザによるプリントサーバのパラメータ変更を防ぐために、パスワードで保護されています。

注意：

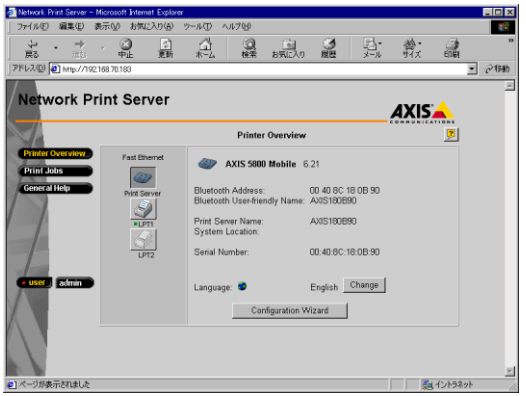
- **config ファイル内の ROOT_PWD パラメータの設定が、デフォルトパスワードの pass から変更されていない場合、管理者モードへのアクセスに対するパスワード保護は実行されません。**

内部 Web ページにアクセスする

以下の手順にしたがって、AXIS 5800 の内部 Web ページにアクセスしてください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. ［場所 / アドレス］フィールドに、AXIS 5800 のホスト名または IP アドレスを入力します。

3. ユーザモードのホームページが開きます。



AXIS 5800 ユーザモードのホームページ

4. ［admin］ボタンをクリックし、管理者モードに入ります。管理者用のパスワードがデフォルトの `pass` に設定されている場合は、ユーザ ID に `root` を入力してください。

5. AXIS 5800 の内部 Web ページは、日本語で表示することもできます。設定方法については、64 ページ「言語の設定」を参照してください。

ユーザモードの機能

ユーザモードでは、以下の機能が利用できます。また、インターネットをご利用の場合は、Axis のロゴをクリックすると Axis のホームページに移動します。

プリンタ概要

［プリンタ概要］ページには、AXIS 5800 の一般的な設定が表示されます。定義されている場合は、プリントサーバの名前や位置が表示されます。

設定ウィザードを実行して AXIS 5800 の基本的な設定を行うことができます。

プリンタアイコンをクリックすると、接続されているプリンタの概要が表示されます。接続されているプリンタのステータスや、対応する機能が表示されます。表示される情報は、プリンタの種類によって異なります。このページからテストページを印刷することもできます。

プリントジョブ

［プリントジョブ］ページでは、印刷されたバイト数、プリントジョブを実行したユーザ情報などを含む、現在のプリントジョブのステータスが表示されます。また、ユーザ、プロトコル、ファイルサイズなどを含むプリントジョブを、最新のログから順番に 20 個まで表示します。接続されているプリンタの利用時間をもとに、プリンタの利用方法をコントロールすることが可能です。

ヘルプ概要

［ヘルプの概要］ページでは、AXIS 5800 の基本的な情報がされます。お使いの PC にプリンタをインストールするためのツールについても、簡単に説明しています。

このページのリンクから得られるソフトウェア情報は、英語で提供されます。

設定ウィザード

設定ウィザードを利用すれば、画面の手順にしたがってデフォルトの設定を確認しながらパラメータを変更できます。ウィザードを完了すれば、プリントサーバはプリンタやネットワークに合わせて正しく設定されます。

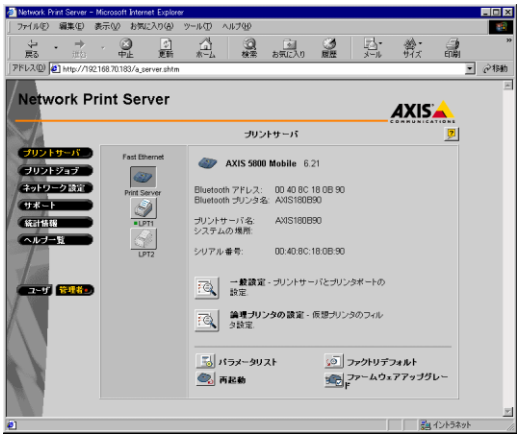
言語の設定

AXIS 5800 の内部 Web ページの表示に利用する言語を、英語（デフォルト）、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語から選択することができます。

［Change］ボタンをクリックし、言語とキャラクタセットの設定画面を開きます。［Language:］から「Japanese」、［Character Set:］から「UTF-8」を選択して［OK］をクリックしてユーザモードのホームページに戻ります。文字が正しく表示されない場合は、Web ブラウザのメニューから［表示］-［エンコード / 文字コードセット］-［Unicode（UTF-8）］を選択してください。

管理者モードの機能

管理者モードでは、以下の機能が利用できます。また、インターネットをご利用の場合は、Axis のロゴをクリックすると Axis のホームページへ移動します。



AXIS 5800 管理者モードのホームページ

プリントサーバ

［プリントサーバ］ページでは、プリントサーバ名、ノードアドレス、パスワードなどを含む、AXIS 5800 の一般的なパラメータ設定の確認および 変更が行えます。また、8 つの論理プリンタの設定も行えます。AXIS 5800 の再起動、および工場出荷時のデフォルト設定へのリセットなどの管理作業も行えます。

プリンタアイコンをクリックすると、接続されているプリンタの概要が表示されます。このページでは、接続されているプリンタのステータスや機能が表示されます。表示される情報は、プリンタの種類によって異なります。このページからテストページを印刷することもできます。

プリントジョブ

［プリントジョブ］ページでは、印刷されたバイト数、プリントジョブを実行したユーザ情報などを含む、現在のプリントジョブのステータスが表示されます。また、ユーザ、プロトコル、ファイルサイズなどを含むプリントジョブを、最新のログから順番に 20 個まで表示します。接続されているプリンタの利用時間をもとに、プリンタの利用方法をコントロールすることが可能です。

ネットワーク設定

［ネットワーク設定］ページでは、AXIS 5800 とのネットワークトラフィックをコントロールするすべてのパラメータを設定することができます。対応するネットワークプロトコルの有効・無効の切り替えや、パラメータ設定の調整が行えます。

警告！

- ネットワークに関連する設定は、ネットワーク管理者が行うようにしてください。

サポート

［サポート］ページでは、インストールおよび印刷に関する問題解決に役立つ情報を提供します。問題が速やかに解決しない場合は、サーバレポートを利用してください。サーバレポートには、AXIS 5800 の設定、接続されているプリンタ、および現在のネットワーク設定などの情報が含まれており、問題解決に役立ちます。

このページのリンクから得られる情報は、英語で提供されるものがあります。日本国内における最新の情報については http://www.axiscom.co.jp/、また日本語によるお問い合わせ先には info@axiscom.co.jp をご利用ください。

統計情報

［統計情報］ページでは、AXIS 5800 とのネットワークトラフィックに関する情報、また AXIS 5800 に接続されているサーバや関連するサービスについての情報が表示されます。

ヘルプ一覧

［ヘルプ一覧］ページでは、AXIS 5800 の内部 Web ページから行える設定・管理の概要について表示します。様々な環境で AXIS 5800 をインストールする手順や、ファームウェアのアップグレードの手順について説明します。［索引］ボタンをクリックすると、オンラインヘルプへの項目ごとのリンクが表示されます。

パラメータリストボタン

プリントサーバの現在のパラメータ設定をすべて表示します。

再起動ボタン

プリントサーバを再起動します。

ファクトリデフォルトボタン

プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。ただし、ノードアドレス（NODE_ADDR）、IP アドレス（IP_ADDR）、DHCP の有効・無効（DHCP_ENABLE）を切り換えるパラメータは、リセットされません。

ファームウェアアップグレードボタン

この機能は、日本では対応していません。

Bluetooth の設定

ここでは、AXIS 5800 の内部 Web ページに含まれる Bluetooth 関連の設定について説明します。

Bluetooth 印刷を利用する

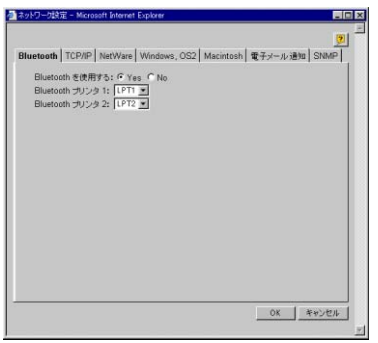
AXIS 5800 の Bluetooth による印刷機能は、インストール完了時に自動的に有効となります。以下の手順にしたがって、この機能の有効・無効の切り換えを行ってください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. ［場所 / アドレス］フィールドに AXIS 5800 のホスト名または IP アドレスを入力し、Enter キーを押してください。

3. ［**管理者**］ボタンをクリックし、管理者モードに入ってください。管理者用のパスワードが `pass` に設定されている場合は、ユーザ名に `root` を入力してください。`pass` は、AXIS 5800 のデフォルトのパスワードです。
4. 管理者ページで、［**ネットワーク設定**］-［**詳細設定**］ボタンをクリックします。
5. ［Bluetooth］タブをクリックし［Bluetooth を有効にする］フィールドのオプション（Yes または No）をクリックして選択します。
6. ［OK］をクリックして設定を保存します。

プリンタポートの設定

AXIS 5800 は、［Bluetooth］タブの［Bluetooth プリンタ］フィールドで選択したポートに印刷します。



管理者モード、Bluetooth 設定画面

Bluetooth に関するトラブルシューティング

ワイヤレス印刷チェックリスト

AXIS 5800 のワイヤレス印刷で問題が発生した場合は、以下の項目について確認してください。

1. AXIS 5800 の Bluetooth アンテナが上方向に向けて立てられ、電波を受信する最もよい状態に調整されている。
2. Bluetooth 印刷機能が有効になっている。デフォルトでは、インストール完了後にこの機能は自動的に有効に設定されます。AXIS 5800 の内部 Web ページを開き、管理者ボタンをクリックします。［**ネットワーク設定**］-［**詳細設定**］をクリックし、［Bluetooth］タブを選択します。［Bluetooth **を有効にする**］フィールドで、「YES」のオプションを選択してください。
3. お使いのプリンタが、AXIS 5800 の適切なポートに接続されているか、確認してください。管理者ボタンをクリックし、［**ネットワーク設定**］-［**詳細設定**］をクリックします。［Bluetooth］タブを選択して物理ポートとして LPT1 または LPT2 を選択してください。
4. 接続する Bluetooth デバイス同士が、10 メートル以内に位置していることを確認してください。デバイスの間に障害物などがある場合は、デバイス同士を近付けてください。

各種設定

ここでは、プリントサーバで利用できる便利な設定について説明します。詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。

ネットワークプリンタ名を変更する

AXIS 5800 の内部 Web ページを利用して、ネットワークプリンタに任意の名前をつけることができます。指定した名前は、AXIS Wireless Printing Utility の［名前］コラムに表示されます。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［**管理者**］ボタンをクリックし、［**一般設定**］ボタンをクリックします。
2. ［**プリントサーバ名**］フィールドに任意のプリンタ名を入力し、［OK］をクリックします。

ネットワークプリンタの場所情報を変更する

ネットワークプリンタが設置されている場所をユーザに知らせるための名前をつけることができます。指定した名前は、AXIS Wireless Printing Utility の［場所］コラムに表示されます。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［**管理者**］ボタンをクリックし、［**プリントサーバ**］-［**一般設定**］ボタンをクリックします。
2. ［システムの場所］フィールドに任意のテキストを入力し、［OK］をクリックします。

注意：

- **日本語を使用することはできません。半角の英数字で入力してください。**

言語の設定

ユーザモードから、プリントサーバの内部 Web ページを表示する言語を選択することができます。

1. ［プリンタ概要］ページの［変更］ボタンをクリックします。
2. 利用する言語をドロップダウンリストから選択し、［OK］をクリックします。
3. Web ブラウザの［更新］ボタンまたは F5 キーを押して画面表示を更新します。

ネットワーク速度

［ネットワーク速度］フィールドを利用すると、データの送受信に使用する速度を手動で設定することができます。お使いのネットワークの種類に応じて、パラメータを変更してください。

ネットワーク速度を変更するには、まず AXIS 5800 の内部 Web ページを開いてください。［管理者］ボタンをクリックし、管理者モードに入ります。［一般設定］ボタンをクリックし、［一般］タブを選択します。以下のオプションから、使用するネットワーク速度を選択します。

AUTO_SENSE（デフォルト値）	データ転送を行うネットワークごとに、最適なネットワークスピードを検出します。
10_HALF__DX	10M ビット / 秒、半二重。
10_FULL-DX	10M ビット / 秒、全二重。
100_HALF_DX	100M ビット / 秒、半二重。
100_FULL-DX	100M ビット / 秒、全二重。

ネットワーク速度のデフォルト値は、AUTO_SENSE です。このオプションは、ほとんどのユーザに適した選択肢です。お使いのネットワークに適合しないオプションを選択した場合、プリントサーバとの接続が切断されることがあります。

論理プリンタを利用する

AXIS 5800 は、印刷データを変更する強力な機能を備えています。ご希望の印刷フォーマットを、お使いのプリンタで利用することができます。AXIS 5800 は、以下の機能に対応しています。

- プリンタに合わせて文字列を変換
- 印刷データの前後に文字列を追加
- 印刷データ内の文字列を置換
- ASCII から PostScript に変換
- プリンタがビジーの場合、印刷データを他のプリンタにリダイレクト
- 印刷の問題解決に役立つ 16 進ダンプモード

論理プリンタは、これらの機能を利用する場合に、プリンタポートに印刷データが送られる前に印刷データを変換するために使用します。印刷データをフィルタリングするよう設定できる論理プリンタは、全部で 8 つあります。

デフォルトの論理プリンタの設定では、論理プリンタ PR1 ～ PR4 は印刷データの流れに変更を加えません。論理プリンタ PR5 ～ PR8 は、LF 制御文字に CR を付加します。

論理プリンタ	データへの変更
PR1	変更なし
PR2	変更なし
PR3	変更なし
PR4	変更なし
PR5	LF に CR を付加
PR6	LF に CR を付加
PR7	LF に CR を付加
PR8	LF に CR を付加

それぞれの論理プリンタは、AXIS 5800 の内部 Web ページから設定することができます。Web ブラウザを起動し、［場所 / アドレス］フィールドにプリントサーバの IP アドレスを入力してください。［管理者］ボタンをクリックし、［**論理プリンタの設定**］ボタンをクリックしてください。

論理プリンタは、config ファイルを編集して設定することもできます。

注意：

- 以下の例は、標準的な Web ブラウザを利用した設定方法について説明します。config ファイルを直接編集する場合は、単純に対応するパラメータの値を変更してください。
- 以下の例は、論理プリンタを設定する参考としてご覧ください。実際には、お使いのネットワークでの必要性に応じて論理プリンタを設定する必要があります。
- 利用可能なパラメータについては、99 ページ「付録 A パラメータリスト」を参照してください。
- 利用可能な管理ツールについては、61 ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。

プリントジョブの前後に文字列を付加する

この機能は、それぞれのプリントジョブの前後にプリンタの制御コマンドを送る方法を提供します。各論理プリンタに対し、別々に指定することができます。

すべての文字列は、16 進のバイト値として入力します。プリントジョブの前後に文字列を付加する場合は、次の「文字列の置換」の二番目の例を参照してください。

文字列の置換

文字列の置換機能は、印刷データ上で検索・置換操作を実行します。主な用途は、プリンタの制御コマンドを置換することです。それぞれの論理プリンタに対して、最大 20 組までの文字列置換を指定することができます。

すべての文字列は 16 進のバイト値として入力し、それぞれの検索・置換文字列の前にカウントバイトを置く必要があります。

文字列置換パラメータ（PRx_STR）を編集して、コマンド文字列を置換します。

例： 論理プリンタ 1 に対して、UNIX の改行（16 進 0A）を ASCII の改行（16 進 0D 0A）で置き換えると仮定します。

以下の手順にしたがって、コマンド文字列を置換してください。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［管理者］ボタンをクリックし、［**論理プリンタの設定**］をクリックします。
2. ［PR1］タブを選択します。
3. ［文字列の置換］パラメータに、01 0A 02 0D 0A を入力します。

16 **進コード**	**説明**
01	検索する文字列の長さ
0A	検索する文字列
02	置換する文字列の長さ
0D 0A	置換する文字列

4. ［OK］ボタンをクリックします。

これは、論理プリンタ（PR5 ～ PR8）に対するデフォルト設定です。

例： デフォルトのエミュレーションモードがPR201Hであるようなキヤノン製の LIPS プリンタに対し、UNIX からシフト JIS 漢字コードを含むテキストファイルを印刷すると仮定します。PR201H モードでは、シフト JIS、EUC、JIS のどの漢字コードを送っても、そのままでは漢字を出力することはできません。そこで、プリントジョブの前に PR201H モードを LIPS に切り替えるコマンド（16 進 1B 25 30）を送り、印刷中は UNIX の改行を DOS の改行で置換し（上の例を参照）、プリントジョブの後に改ページコマンド（16 進 0C）とモードを PR201H に戻すコマンド（16 進 1B 25 31）を送るような設定を論理プリンタ 1 に対して行うには、以下の手順にしたがってください。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［管理者］ボタンをクリックし、［**論理プリンタの設定**］をクリックします。
2. ［PR1］タブを選択します。
3. ［プリントジョブ前の文字列］パラメータに、文字列 1B 25 40 1B 25 30 を入力します。
4. ［文字列の置換］パラメータに、文字列 01 0A 02 0D 0A を入力します。
5. ［プリントジョブ後の文字列］パラメータに、文字列 01 1B 25 31 を入力します。
6. ［OK］ボタンをクリックします。

注意： ❑ **文字列の置換を多用すると、AXIS 5800 のスループットが低下します。**

ASCII から Postscript への変換

AXIS 5800 の論理プリンタは、ASCII 形式の印刷データを PostScript 形式に変換することができます（ただし、日本語には対応していません）。この機能により、PostScript に対応していないホストから PostScript プリンタに印刷を実行することができます。変換は、ASCII データを PostScript に変換するフィルタをアクティブにすることにより選択されます。このフィルタは、それぞれの論理プリンタに対して別々に実行することができます。

印刷言語変換パラメータ（PRx_FILT）を設定し、ご希望のフィルタをアクティブにしてください。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 2 に対して ASCII の印刷データを PostScript に変換してください。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［管理者］ボタンをクリックし、［**論理プリンタの設定**］ボタンをクリックします。
2. ［PR2］タブを選択します。
3. ［**印刷言語の変換**］パラメータを、POSTSCR に設定します。
4. ［OK］ボタンをクリックします。

パラメータ値 AUTO_PS を選択した場合、それぞれのプリントジョブに対する印刷データが検索され、ASCII データがあった場合には PostScript への変換を実行します。印刷データが ASCII か PostScript か定かでない場合に推奨されるパラメータです。

PostScript の設定

論理プリンタを PostScript 変換に対して設定した場合は、以下の項目を指定してください。

- ページサイズ
- ページの向き
- ページのフォーマット
- 使用するフォント

デフォルトのページサイズは A4、ページの向きは縦置き、ページのフォーマットは以下のようになります。

ページフォーマット	デフォルト値	
1 ページ当たりの行数	66	
1 行当たりの文字数	0	0= 行の折り返しは無効
1 インチ当たりの文字数	10.0	
1 インチ当たりの行数	60	60 = 1 インチ当たり 60 行
左マージン	30	30 = 3.0 mm
上マージン	50	50 = 5.0 mm

PostScript フォントは、プリンタにインストールされている欧文フォントであればどれを使用しても構いません。フォントが指定されていない場合は、Courier が使用されます。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 2 に対して PostScript パラメータを設定してください。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［管理者］ボタンをクリックし、［論理プリンタの設定］ボタンをクリックします。
2. ［PR2］タブを選択します。
3. ［印刷言語の変換］パラメータを、POSTSCR に設定します。
4. ［PostScript ページサイズ］パラメータを、LETTER に設定します。
5. ［PostScript ページの向き］パラメータを、LANDS に設定します。

6. ［PostScript ページフォーマット］パラメータに、48 0 120 60 30 50 を入力します。

16 進コード	説明
48	1 ページ当たり 48 行
0	行の折り返しは無効
120	1 インチ当たり 12 文字
60	1 インチ当たり 6 行
30	左マージンは 3mm
50	上マージンは 5mm

7. ［PostScript フォント］パラメータに、Helvetica を入力します。
8. ［OK］ボタンをクリックします。

プリンタがビジーの時にプリントジョブをリダイレクトする

すでにビジー状態になっているプリンタが印刷データを受け取った場合、ホストは待機する必要があります。このような場合、AXIS 5800 は目的のプリンタがビジーの時に、論理プリンタを利用して別の論理プリンタにプリントジョブをリダイレクトすることができます。二番目のプリンタもビジーの場合は、ホストは目的のプリンタがレディー状態になるまで待機する必要があります。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 1 に割り当てたプリンタがビジーの時に、論理プリンタ 1 のプリントジョブを論理プリンタ 3 にリダイレクトしてください。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［管理者］ボタンをクリックし、［論理プリンタの設定］ボタンをクリックしてください。
2. ［PR1］タブを選択します。
3. ［物理ポート］パラメータを、LPT1 に設定します。
4. ［セカンダリプリンタ］パラメータを、PR3 に設定します。
5. ［ビジー時に待機］パラメータを、NO に設定します。
6. ［OK］ボタンをクリックします。
7. ［PR3］タブを選択します。
8. ［物理ポート］パラメータを、LPT2 に設定します。
9. ［OK］ボタンをクリックします。

注意：

- 論理プリンタのリダイレクトはネストできません。上の例で、論理プリンタ 3 が別の論理プリンタにリダイレクトされていても、論理プリンタ 3 がビジーの場合はプリントジョブはそれ以上リダイレクトされません。
- 両方のプリンタがビジーの場合は、プリントジョブは現在アクティブなプリントジョブを最初に終えたプリンタに印刷されます。

情報のリードバック

AXIS 5800 は、双方向印刷に対応しています。プリンタからの情報は、リードバックポートパラメータ（PRx_IN）がデフォルト値の AUTO に設定されている場合、リードバックされます。ただし、プリンタも双方向印刷に対応している必要があります。

双方向印刷について詳しくは、お使いのプリンタに付属のマニュアルを参照してください。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 1 に対する双方向通信を無効にしてください。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［管理者］ボタンをクリックし、［**論理プリンタの設定**］ボタンをクリックします。
2. ［PR1］タブを選択します。
3. ［**リードバックポート**］パラメータを、NONE に設定します。
4. ［OK］ボタンをクリックします。

16 進ダンプモードを利用してデバッグする

16 進ダンプモードがアクティブになっている場合は、印刷データは文字ではなく、16 進のバイト値として印刷されます。プリンタの制御コマンドも 16 進の値として印刷されます。どのような制御文字や印刷文字がプリンタに送られようとしているかを調査することを可能にし、解決の困難な印刷に関する問題のデバッグ機能として利用できます。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 3 に対して 16 進ダンプモードをアクティブにしてください。

1. AXIS 5800 の内部 Web ページを開きます。［管理者］ボタンをクリックし、［**論理プリンタの設定**］ボタンをクリックします。
2. ［PR3］タブを選択します。

3. ［16 進ダンプモードを有効にする］オプションを、YES に設定します。
4. ［OK］ボタンをクリックします。

注意：
- 16 進ダンプモードのページ長は、PostScript ページフォーマットパラメータの 1 ページ当たりの行数によって決定されます。

FTP を利用する

AXIS 5800 に有効な IP アドレスを割り当てれば、FTP（File Transfer Protocol）を利用して AXIS 5800 のパラメータ設定を変更することができます。IP アドレスの割り当てについては、12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

config ファイルを編集する

以下の手順にしたがって、FTP を利用して config ファイルを編集してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、AXIS 5800 にログインしてください。

   `ftp` *ホスト名* または `ftp` *IP アドレス*

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です）。
3. 以下のコマンドを入力して、config ファイルをホストに転送します。

   ```
   get config
   ```

4. テキストエディタを利用して、config ファイルを編集してください。
5. 以下のコマンドを入力し、AXIS 5800 に編集した config ファイルを保存します。

   ```
   put config CONFIG
   ```

注意：
- 送り先のファイルは、大文字（CONFIG）で指定してください。大文字で指定しなかった場合、編集は一時的なものとして扱われ、一度 AXIS 5800 の電源を落とすと編集内容が失われます。
- Macintosh から config ファイルを編集する場合、MacTCP、Fetch、Anarchie などの FTP サポートが必要になります。config ファイルを編集するための手順は、上記と同じです。

次の例は、DOS 窓から FTP を利用してお使いのホストに config ファイルを転送し、AXIS 5800 に編集後のファイルを保存する方法を示しています。

例：

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 5800 Mobile FTP Print Server v6.21 Sep 4 2001 ready.
Name (npserver:thomas): root
331 User name ok, need password
Password: pass              (見えません)
230 User logged in
ftp> get config
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for config (192,36,253,4,13,223), (mode
ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.24 seconds (35.63 kbytes/s)
ftp> put config CONFIG
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for CONFIG (192,36,253,4,13,223), (mode
ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.45 seconds (19.04 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
>
```

Status ファイルを見る

status コマンドは、論理プリンタが割り当てられているプリンタポート、またそれらのステータスを表示します。

以下の手順にしたがって、FTP を利用してステータスを確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、AXIS 5800 にログインします。

   `ftp` *ホスト名* または `ftp` *IP アドレス*

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です）。
3. 以下のコマンドを入力して、status ファイルをホストに転送します。

   `get status`

4. テキストエディタを利用して、status ファイルの内容を表示してください。

Account ファイルを見る

account ファイルには、最近 20 個のプリントジョブに関するデータが含まれています。内部ジョブ番号、ジョブを発行したユーザ、使用されたプロトコルとプリンタ、現在のステータス（完了、オフライン、印刷中）、印刷されたバイト数、経過時間とオフライン時間を表示します。

以下の手順にしたがって、FTP を利用して account ファイルを確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、AXIS 5800 にログインします。

   `ftp` *ホスト名* または `ftp` *IP アドレス*

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です）。
3. 以下のコマンドを入力して、account ファイルをホストに転送します。

   `get account`

4. テキストエディタを利用して、account ファイルの内容を表示してください。

FTP のヘルプ

上記の手順 3 で、`help` と入力してください。利用可能なコマンドのリストが表示されます。

Telnet を利用する

AXIS 5800 に有効な IP アドレスを割り当てれば、TELNET を利用して AXIS 5800 のパラメータ設定を変更することができます。IP アドレスの割り当てについては、12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

Account ファイルを見る

account ファイルには、最近 20 個のプリントジョブに関するデータが含まれています。内部ジョブ番号、ジョブを発行したユーザ、使用されたプロトコルとプリンタ、現在のステータス（完了、印刷中）、印刷されたバイト数、経過時間とオフライン時間を表示します。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用して account ファイルを表示してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、AXIS 5800 にログインします。

   `telnet` *ホスト名* または `telnet` *IP アドレス*

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です）。

3. 以下のコマンドを入力して、account ファイルを表示します。

   `account`

次の例は、UNIX のシェルウィンドウから TELNET を利用して account ファイルを表示する方法を示しています。

例：

```
> telnet npserver
Trying 192.36.253.96...
Connected to npserver.
Escape character is '^]'.

AXIS 5800 Mobile TELNET Print Server V6.21 Sep 4 2001

AXIS 5800 mobile network login: root
Password: pass        (見えません)

AXIS 5800 Mobile TELNET Print Server v6.21 Sep 4 2001

Root> account
Current account file:
JOB         USER      PROT      LPR S BYTES  ETIME

 1          Thomas    FTP       pr2 C 1885   2
 2          Joe       LPT       pr1 C 23074  4
 3          RICHARD   PSERVER   pr2 C 43044  5
 4          MacUser   APPLE     pr1 C 6717   2
 5          LSLM_userNetBIOS    pr2 C 36995  3
 6          patrick   PROS      pr5 P 83208  9
Root>
```

Account ファイルを見るための典型的な TELNET セッション

Status ファイルを見る

status コマンドは、論理プリンタが割り当てられているプリンタポート、またそれらのステータスを表示します。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用してステータスを確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、AXIS 5800 にログインします。

   `telnet` *ホスト名* または `telnet` *IP アドレス*

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です）。

3. 以下のコマンドを入力して、status ファイルをホストに転送します。

   `status`

リセットを実行する

ソフトリセット、ハードリセット、プリントサーバのパラメータをデフォルト設定にリセットする、三種類のリセットコマンドを実行できます。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用してソフトリセットを実行してください。

1. 以下のコマンドを入力して、AXIS 5800 にログインします。

   `telnet` *ホスト名* または `telnet` *IP アドレス*

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です）。

3. 以下のコマンドを入力し、プリントサーバのプロトコルを再起動します。

   `softreset`

その他の二種類のリセットを実行するには、手順 3 のコマンドを、`hardreset`（ハードリセット）または `default`（デフォルト設定にリセット）に置き換えてください。

TELNET のヘルプ

上記の手順 3 で、`help` と入力してください。利用可能なコマンドのリストが表示されます。

SNMP を利用する

SNMP（Simple Network Management Protocol）を利用して、AXIS 5800 のリモート監視および設定を行うことができます。プリントサーバの主な機能がすべてサポートされています。

一般的な情報

SNMP とは、プロトコル、データベース構造の仕様、データオブジェクトの集合を含む、ネットワーク管理のための標準の集合を示します。AXIS 5800 の SNMP の実装は、TCP/IP 環境で動作します。

管理は、ネットワーク上のホストで動作する SNMP マネージャで行われます。SNMP マネージャは、一つまたは複数のオブジェクトへの参照であるメッセージを利用し、ネットワーク上のデバイスと通信します。

メッセージは、デバイスに対する問い合わせや指示、またはデバイスのある特定のイベントのきっかけとなるアラームの場合があります。オブジェクトは、MIB（Management Information Base）と呼ばれるデータベースに含まれています。MIB-II が標準的なデータベースです。

AXIS 5800 は MIB-II に対応しています。また、AXIS MIB（プライベートエンタープライズ MIB）も含まれています。

AXIS MIB

AXIS 5800 の SNMP サポートを十分に活用するには、AXIS MIB のようなプライベートエンタープライズ MIB のインストールを行える、SNMP マネージャが必要になります。

AXIS MIB には、以下のオブジェクトが含まれます。

- メニューオブジェクト - SNMP マネージャから AXIS 5800 の設定を確認したり、変更するのに使用します。詳しくは、99 ページ「第 A 章 パラメータリスト」を参照してください。
- プリンタステータスオブジェクトと製品の管理オブジェクト - AXIS 5800 のプリントジョブの監視、パラメータの変更を保存するのに使用します。
- トラップオブジェクト - 様々なエラーを通知するのに使用します。

技術的な詳細については、任意のテキストエディタを利用して MIB ファイル（*axis.mib*）をご覧ください。

SNMP マネージャから FTP を利用し、AXIS MIB をプリントサーバからお使いの SNMP マネージャにダウンロードすることができます。

以下の手順にしたがって、お使いの SNMP マネージャに AXIS MIB を追加してください。

1. FTP を利用して AXIS 5800 にログインします。
2. SNMP マネージャが動作するホストに、MIB ファイルを転送します。ファイル名は、*/snmp/axis.mib* です。
3. お使いの SNMP マネージャのマニュアルにしたがい、AXIS MIB をインストールしてください。

ノベル社のユーティリティを利用する

AXIS 5800 を NetWare 環境にインストールした場合、ノベル社の NetWare アドミニストレータや PCONSOLE を利用して AXIS 5800 を管理することができます。

NetWare の管理

以下に、NetWare アドミニストレータが提供する便利な機能について説明します。

プリンタステータス

以下のプリンタステータスメニューは、AXIS 5800 によってサービスされるアクティブなプリントジョブのステータスを表示します。このメニューには、プリントキュー、プリントジョブの説明、プリントジョブのサイズ、ジョブの完了パーセントなどを含む、アクティブなジョブに関する詳しい情報が含まれます。また、このメニューからプリントジョブを中断したり、一時停止することもできます。

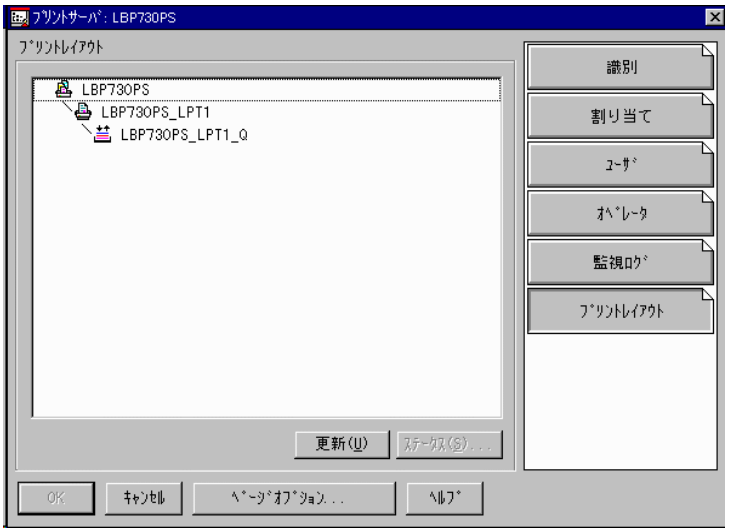
NetWare アドミニストレータのプリンタステータスメニュー

通知

AXIS 5800 に接続されたプリンタのステータスを通知する機能を、NetWare アドミニストレータを利用して有効にしたり無効にしたりできます。ステータスには、ビジー、オフライン、用紙補給、紙詰まりなどがあります。また、ステータスの通知を受けるユーザのリストに、プリントジョブのオーナーや管理者を追加したり、削除したりすることもできます。

プリントレイアウト

NetWare の任意の部門単位で、インストール済みの AXIS 5800 や、作成されたプリントキューを確認することができます。



NetWare のプリントレイアウト

第 11 章　IPP - Internet Printing Protocol

AXIS 5800 は、IPP（Internet Printing Protocol）によるインターネットを経由した印刷を可能にします。IPP は、インターネット上のリモートプリンタに印刷を実行するためのプロトコルです。

IPP を利用すれば、インターネットに接続しているユーザが、インターネット上に接続されているプリンタに印刷ジョブを送れるようになります。IPP はシステムに依存しないプロトコルで、TCP/IP に対応する LAN や WAN で使用することができます。

分かりやすく言えば、ユーザは FAX や電子メールの代わりに、通常のネットワーク印刷と同様のカラーオプションなどを利用して、リモートプリンタに印刷することができます。

IPP を利用してリモートプリンタに印刷するには、以下が必要になります。

- Windows 2000 がインストールされているコンピュータ。
- プリントジョブを送信するプリンタは、IPP 機能に対応するプリントサーバ、AXIS 5800 などに接続してください。AXIS 5800 の IPP 機能は、インストール完了時に自動的に有効になります。

IPP プリンタのアドレス構造

IPP印刷を利用する場合、IPPが有効になっているプリントサーバの IP アドレスまたはホスト名が必要になります。IPP はクライアントサーバ型のプロトコルで、以下の二種類があります。

- 1.0 標準：http: アドレス構造を使用

接続先のプリンタの URL には、以下が含まれます。

1. プリントサーバの IP アドレスまたはホスト名
2. ポート番号：631
3. ローカルプリンタのポート名

接続先のアドレス（1.0 標準）

たとえば、AXIS 5800 のホスト名が *axisps*、ポート番号が *631*、ローカルプリンタのポート名が *LPT1* の場合、接続先はのアドレスは *http://axisps:631/LPT1* のようになります。

ホスト名を利用した接続先アドレス	出力先のプリンタ
http://axisps:631/LPT1	LPT1 パラレルポートに接続されたプリンタ

利用可能な IPP クライアント

AXIS 5800 は、IPP1.0 互換の IPP クライアントに対応しています。Windows 2000 をインストールすると、Microsoft IPP クライアントが自動的にインストールされます。

AXIS 5800 は、各ポートに対して IPP プリンタオブジェクトを一つずつ表示します。IPP クライアントによる印刷方法については、次ページ以降を参照してください。IPP クライアントについて詳しくは、IPP クライアントのマニュアルを参照してください。

ファイアウォールについて

サーバと IPP クライアントの間に、一つまたは複数のファイアウォールが存在する場合、ファイアウォールの設定変更が必要になる場合があります。IPP は印刷の際に TCP ポート番号 631 を使用するため、サーバとクライアント間に存在するファイアウォールは、ポート上で双方向通信ができるよう設定されている必要があります。ファイアウォールの設定変更については、ネットワーク管理者に相談してください。

始める前に

IPP プリンタで印刷を行う前に、以下について確認してください。

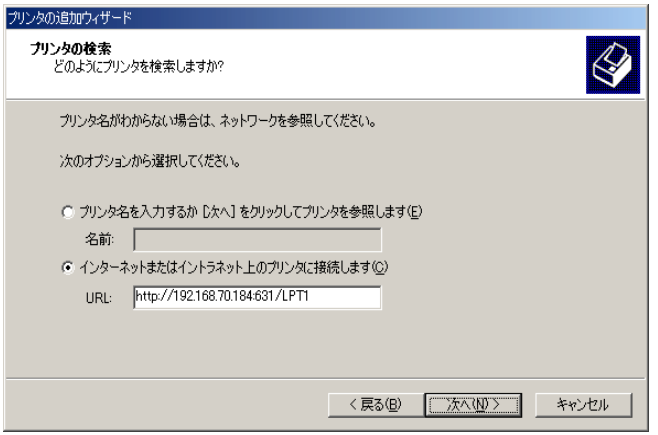
- **プリントサーバのアドレス** - http:// で表されるアドレスには、プリントサーバの IP アドレスまたはホスト名、ポート番号（1.0 標準では 631 を使用）、プリンタポート名が含まれます。
- **プリンタの種類と製造元** - 適切なプリンタドライバをインストールするのに必要です。
- **プリンタポート名** - プリンタが接続されているプリントサーバのプリンタポート名。

プリンタリストに IPP プリンタを追加して印刷する

この例では、AXIS 5800 の IP アドレスに *192.168.70.184*、AXIS 5800 に接続されているプリンタポートに *LPT1*、利用するプリンタに Canon LBP-2300 を使用しています。

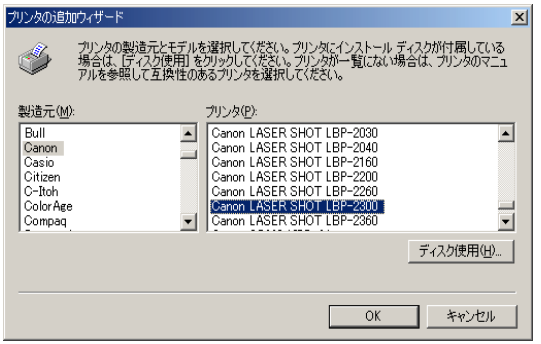
送信先のアドレスは、http://192.168.70.184:631/LPT1 となります。

1. 印刷するドキュメントのメニューから、［ファイル］-［印刷］を選択します。
2. ［選択するプリンタ］フィールドから、［プリンタの追加］をダブルクリックします。［プリンタの追加ウィザード］が開始します。
3. ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを追加する画面が表示されます。［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。
4. ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］オプションを選択し、［URL］フィールドに送信先のアドレスを入力します。［次へ］をクリックします。



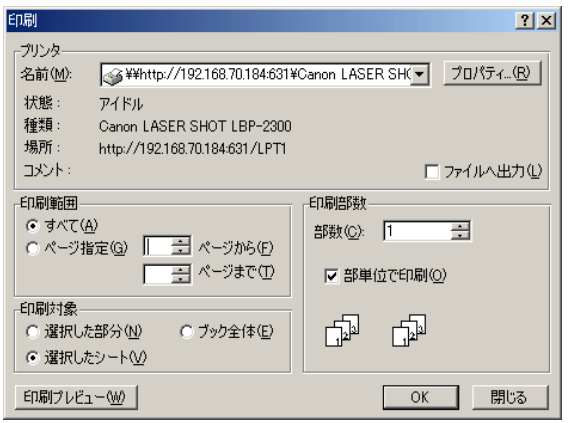
5. お使いのコンピュータに送信先のプリンタのドライバがない場合は、メッセージが表示されます。［OK］をクリックしてドライバをインストールしてください。

6. 送信先のプリンタに対応する、製造元とプリンタの種類を選択します。［OK］をクリックします。



7. インストールしているプリンタを通常使うプリンタとして使用するか、選択してください。［次へ］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを完了します。

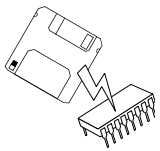
8. 新しいプリンタが［プリンタの選択］フィールドに表示されます。



9. IPP を利用して印刷する準備が整いました。追加したプリンタを選択し、［印刷］ボタンをクリックしてください。

第 12 章　ソフトウェアの更新

ファームウェアをアップグレードする



以下の方法を利用して、AXIS 5800 のフラッシュメモリをアップグレードすることができます。

- FTP（TCP/IP）

FTP を利用してアップグレードする

FTP を利用してネットワーク経由でアップグレードを行うには、まずプリントサーバの新しいファームウェアを入手してください。バージョン 6.21 のファームウェアの場合、ファイル名は、`5800_621.bin`（製品名 _ バージョン `.bin`）のようになります。

この方法を利用してファームウェアのアップグレードを行う前に、AXIS 5800 に IP アドレスを割り当てておく必要があります。詳しくは、12 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

以下の手順にしたがって、ファームウェアのアップグレードを行ってください。

警告！

- ❑ **アップグレードを中断しないよう注意してください。アップグレードが途中で中断された場合、販売店にて初期化作業が必要になることがあります。**

1. 以下のコマンドを入力して、AXIS 5800 にログインします。

   `ftp` *ホスト名* または `ftp` *IP アドレス*

2. ユーザ ID とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザ ID として `root` を利用します。root のデフォルトパスワードには、`pass` を入力してください。

3. 以下のコマンドを入力し、バイナリ転送モードに移行します。

   `bin`

4. 以下のコマンドを入力し、ファームウェアのアップグレードを実行します。*ソフトウェア名* は、新しいファームウェアのファイル名です。

   `put` *ソフトウェア名* `FLASH`

5. フラッシュローディングが終了するまで、そのまま待ってください。通常、フラッシュローディングには 1 ～ 4 分かかります。AXIS 5800 は、新しいファームウェアを利用して自動的に再起動します。
6. お使いの FTP のバージョンに合わせて、`quit`、`bye`、または `exit` と入力してログアウトしてください。

注意： ❑ ネットワーク上でアップグレードを妨げるような問題が発生した場合は、パラレルポートを利用してフラッシュローディングを行う必要があるかもしれません。

更新されたソフトウェアを入手する

以下のソフトウェアは、無料でアップグレードすることができます。アップグレード情報については、Axis のホームページをご覧ください（http://www.axiscom.co.jp/）。

- AXIS Wireless Printing Utility
- AXIS Print Monitor
- AXIS NetPilot
- AXIS Print Utility for OS/2
- AXIS 5800 のファームウェア
- *axinstall* スクリプト
- AXIS MIB file

第 13 章　テストボタン

AXIS 5800 の右側側面には、テストボタンが備えられています。テストボタンを利用して、以下のことを行えます。

- テストページを印刷し、プリンタとの接続状態を確認する。
- パラメータリストを印刷し、AXIS 5800 の現在の設定を確認する。
- AXIS 5800 のパラメータを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする。

注意： ❑ プリンタが PostScript ファイル、また ASCII テキストファイルを印刷できない場合、テストページおよびパラメータリストは印刷できません。

テストページ

テストボタンを一回押すと、テストページが印刷されます。テストページが印刷されれば、プリンタのインターフェースとの接続は正しく機能しています。テストページには、AXIS 5800 に関する基本的な情報が含まれています。AXIS 5800 をプリンタに接続した時は、テストページを印刷することをお勧めします。

注意： ❑ テストページは、デフォルトで LPT1 ポートに印刷されます。LPT2 ポートに印刷する場合は、config ファイルに含まれているパラメータの値（DEF_OUT）を、LPT2 に設定してください。

パラメータリスト

テストボタンを二回押すと、AXIS 5800 の現在の設定を示すパラメータリストが印刷されます。パラメータリストには、現在のパラメータ設定の詳しい情報が含まれます。詳しくは、99 ページ「付録 A パラメータリスト」を参照してください。

パラメータを変更する場合は、61 ページ「第 10 章　設定と管理」で説明されている方法を利用してください。

注意： ❑ パラメータリストは、デフォルトで LPT1 ポートに印刷されます。LPT2 ポートに印刷する場合は、config ファイルに含まれているパラメータの値（DEF_OUT）を、LPT2 に設定してください。

工場出荷時のデフォルト設定

以下の手順にしたがって、AXIS 5800 を工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。

1. AXIS 5800の外部電源を取り外し、電源を切ってください。
2. テストボタンを押しながらAXIS 5800の外部電源アダプタを接続し、電源を入れます。ネットワークインディケータが 1 秒間隔で点滅し始めるまで、テストボタンを押し続けます。この状態になるまで、約 5 秒ほどかかります。
3. テストボタンを放し、ネットワークインディケータが最低 5 回点滅するまで待ちます。
4. ネットワークインディケータが点灯し続けるまで、再びテストボタンを押し続けます。
5. 電源を入れ直し、AXIS 5800 を再起動します。

AXIS 5800 は、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。

注意：

- ノードアドレス（NODE_ADDR）、IP アドレス（IP_ADDR）、DHCP の有効・無効の切り替え（DHCP_ENABLE）以外のパラメータは、すべてリセットされます。これらのパラメータを変更する場合は、Web ブラウザから AXIS 5800 の内部 Web ページにアクセスしてください。詳しくは、61 ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。.

第 14 章　技術仕様

対応するモバイルデバイス

Bluetooth Software Suite 1.07 で動作する PC カード、および関連するドライバが正しくインストールされているノート PC。ノート PC には、AXIS Wireless Printing Utility がインストールされている必要があります。

対応するシステム

Novell NetWare：
NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J、5J（IPX のみ対応）。NDS とバインダリエミュレーションの両方に対応。最大 16 台のバインダリファイルサーバと 96 個のプリントキューを処理可能。ユーザメッセージに対応。
印刷方法：RPRINTER/NPRINTER、PSERVER。

IBM LAN Server：
OS/2 J2.1、J2.11、J3.0、J3.01 の下で動作する LAN Server J3.0、J4.0。

Microsoft Windows：
Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windwos NT 4.0、Windows 2000、Windows Me。
（ワイヤレス印刷機能は、Windows 95、NT には未対応）。

UNIX：
BSD 系：SunOS 4.x（Solaris 1.x）等。
System V 系：SunOS 5.x（Solaris 2.x）、HP-UX、IBM AIX 等。
印刷方法：LPD、FTP、PROS（名前付きパイプとフィルタ）、Reverse Telnet。

MacOS：
印刷方法：AppleTalk Phase 2

Web ブラウザ：
Netscape Navigator 3.x 以上、Microsoft インターネットエクスプローラ 3.x 以上。

対応するプロトコル

NetWare：
IPX、SAP、RIP、SPX、NCP。

Windows 95/98/Me：
NetBIOS/NetBEUI。

Windows 95/98/Me/NT/2000：
TCP/IP（LPD、FTP、Telnet、Raw TCP、ARP、DHCP、ICMP、IP、IPP、TCP、UDP、HTTP、SNMP）。

LAN Server：
NetBIOS/NetBEUI。

UNIX: TCP/IP（LPD、FTP、Telnet、Reverse Telnet、PROS、BOOTP、ARP、RARP、DHCP、ICMP、IP、TCP、UDP、HTTP、SNMP、TFTP）。

MacOS： AppleEtherTalk（AARP、ATP、DDP、NBP、PAP、RTMP、ZIP）。

対応プロファイル Bluetooth Object Push Profile、Axis Print Profile。

RF 仕様 免許不要の 2.4 GHz 周波数帯。

RX 感度 - 70 dBm

TX 出力 - 0 dBm（Class 2）

ネットワーク管理 SNMP-MIB II 準拠（UDP/IP および IPX 上）、プライベートエンタープライズ MIB を含む。NWAdmin/PCONSOLE でプリントサーバステータスを確認可能。

ハードウェア 32 ビット 100 MHz RISC コントローラ、2 M バイトのフラッシュメモリ、8M バイトの RAM。

論理ネットワーク接続 イーサネット：IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP、Ethernet II フレームタイプを同時に使用可能。

ファーストイーサネット：ネットワークスピードの自動検知のための NWAY 対応。IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP、Ethernet II フレームタイプを同時に使用可能。全二重。

物理ネットワーク接続 10BASE-Tイーサネット、100BASE-TXファーストイーサネット用の RJ-45 コネクタ（カテゴリ 5 ツイストペア）。

セキュリティ

UNIX： root のパスワード。ユーザアクセス制限とプリンタアクセス制限（FTP を利用する場合）。

NetWare： 暗号化パスワード。

論理プリンタ 論理プリンタポートは、プリントジョブの前後に文字列を追加したり、文字列を置換したりすることを可能にします。

パラレルプリンタ
IEEE 1284 準拠高速パラレルポートが 2 つ。持続スループットは最大 1M バイト / 秒。AppleTalkEthernet、ReverseTelnet、PROS に対する双方向通信に対応。ECP に対応。

フロントパネル
LED インディケータ 2 つ（電源、ネットワーク）。
各種情報を印刷するためのテストボタン。

消費電力
外部電源より供給、最大 4.8W。
専用外部電：PS-D（12V AC、800 mA）。

ワイヤレス通信速度
約 720kbps（非対称型通信時）、約 430kbps（対称型通信時）。

寸法
高さ×幅×奥行
2.5 × 16.9 × 13.5cm

重量
0.25kg

動作環境
温度：5 ～ 40° C
湿度：10 ～ 95%（結露不可）

すべての仕様は、予告なしに変更されることがあります。

付録 A　パラメータリスト

この章では、AXIS 5800 のパラメータの概要について説明します。

Config ファイル

表の左側の欄には、config ファイルに表示されるパラメータ名称と、そのデフォルト値を示します。右側の欄には、AXIS 5800 の内部 Web ページに表示されるパラメータ名を示します。

パラメータの変更を行った場合、ほとんどのパラメータは次のプリントジョブから変更が適用されます。パラメータの説明の中で、「再起動が必要」とされているパラメータの変更を適用するには、AXIS 5800 を再起動する必要があります。

パスワードのパラメータ（ROOT_PWD および ROS_PWD）は、root を利用して AXIS 5800 にログインした時のみ表示されます。テストボタンを利用してパラメータリストを印刷した場合、パスワードパラメータの値は印刷されません。

--- GENERAL MENU

NODE_ADDR.　: 00 40 8C 00 00 00	Node Address（ノードアドレス）
NETWORK SPEED : AUTO_SENSE (AUTO_SENSE, 10_HALF_DX, 10_FULL_DX, 100_HALF_DX, 100_FULL_DX)	Network Speed（ネットワーク速度）
PS_NAME.　: AXIS100000	Print Server Name （プリントサーバ名 / 下 6 桁の英数字はプリントサーバのシリアル番号）
ROOT_PWD.　: pass	Root Password（root のパスワード）
USERS.　:	User and Printer Access List（ユーザのアクセス権リスト）
BASE_URL.　: www.axis.com	Base URL（ベース URL）
CHARSET: ISO-8859-1 (SHIFT_JIS, ISO-8859-1, UTF-8)	Character Settings（文字コード）
LANG.: English (English, German, French, Spanish, Japanese)	Language Menu（言語）
AXIS_PRINT_SYSTEM.: YES	Enable compatibility with AXIS Print System（APS の有効・無効）
HP_JETADMIN.　: NO (YES, NO)	HP JetAdmin Support（日本語環境では未対応）
DEF_OUT.　: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Internal Printout Destination（内部的な印刷の出力先）
SYS_LOC.　:	System Location（システムの場所）
SYS_CONT.　:	System Contact（システムの問い合わせ先）

--- TCP/IP MENU

TCP_ENB.	: YES	TCP/IP Enabled（TCP/IP 印刷の有効・無効）
INT_ADDR.	: 0 0 0 0	Internet Address（IP アドレス）
DEF_ROUT.	: 0 0 0 0	Default Router Address（デフォルトゲートウェイ） *デフォルトゲートウェイがない時は、0.0.0.0*
NET_MASK.	: 0 0 0 0	Net Mask （サブネットマスク） *クラス C では 255.255.255.0、自動検知の時は 0.0.0.0*
PROS_PWD.	: netprinter	PROS Password（PROS プロトコルのパスワード）
PROS_PRT.	: 35	PROS TCP Port Number（PROS の TCP ポート番号）
LPD_BANN.	: OFF (OFF, AUTO, LAST)	LPD Banner Page Mode（LPD バナーページのモード）
DHCP_ENB.	: YES	DHCP Enabled（DHCP の有効・無効）
AUTOIP_ENB.	: YES	Auto-IP enabled（Auto-IP の有効・無効）
BOOTP_ENB.	: YES	BOOTP Enabled（BOOTP の有効・無効）
RARP_ENB.	: YES	RARP Enabled（RARP の有効・無効）
WINS_ENB.	: YES	WINS Enabled（WINS の有効・無効）
WINS_ADDR1.	: 0 0 0 0	Primary WINS Server Address（プライマリ WINS サーバアドレス）
WINS_ADDR2.	: 0 0 0 0	Secondary WINS Server Address（セカンダリ WINS サーバアドレス）
NBT_SCOPE_ID.	:	NBT Scope ID（WINS の名前とともに使用される NetBIOS スコープの定義）
DNS_ENB.	: YES	DNS Enabled（DNS の有効・無効）
DNS_ADDR1.	: 0 0 0 0	Primary DNS Server Address（プライマリ DNS サーバアドレス）
DNS_ADDR2.	: 0 0 0 0	Secondary DNS Server Address（セカンダリ DNS サーバアドレス）
DOMAIN_NAME.	:	Domain Name（AXIS 5800 が属するドメイン名）
SMTP SERVER:		SMTP を利用するメールサーバ
SLP_SCOPE_LIST.: DEFAULT		AXIS 5800 が属する SLP スコープ
RTN_OPT.	: NO	Reverse Telnet Options Enabled（Reverse Telent の有効・無効）
RTEL_PR1.	: 0	PR1 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）
RTEL_PR2.	: 0	PR2 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）
RTEL_PR3.	: 0	PR3 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）
RTEL_PR4.	: 0	PR4 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）
RTEL_PR5.	: 0	PR5 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）
RTEL_PR6.	: 0	PR6 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）
RTEL_PR7.	: 0	PR7 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）
RTEL_PR8.	: 0	PR8 Reverse Telnet Port Number（Reverse Telent の TCP ポート番号）

--- SNMP MENU

READ_COM.	: public	Read Community（読み出しコミュニティ）
WRT_COM.	: pass	Read/Write Community（読み書き可能コミュニティ）
TRAPADDR.	: 0 0 0 0	Trap Address（SNMP トラップアドレス）
TRAP_COM.	: public	Trap Community（SNMP トラップコミュニティ）
SYS_NAME.	:	System Name（システムの名前）
SNMP_AUT.	: DISABLE (DISABLE, ENABLE)	Authentication Failure Trap（認証失敗トラップの有効・無効）
TRAP_PRT.	: DISABLE (DISABLE, ENABLE)	Printer Failure Trap（プリンタトラップの有効・無効）

--- NETWARE MENU

NETW_ENB.	: YES	NetWare Enabled（NetWare 印刷の有効・無効）
NETW_TRANSPORT_PROTOCOL.	: DUAL_STACK (IPX_ONLY, IP_ONLY, DUAL_STACK)	NetWare Transport protocols Enabled（NetWare トランスポートプロトコルの有効・無効）
JOB_CHECK_DELAY.	: 5	Job Check Delay（プリントサーバのキューポーリング間隔）
CONF_CHECK_DELAY.	: 300	Configuration Check Delay（自動設定チェックの間隔）
FR_802_3.	: YES	IEEE 802.3 Frame Type Enabled（IEEE802.3 の有効・無効）
FR_ETH_2.	: YES	Ethernet II Frame Type Enabled（Ethernet II の有効・無効）
FR_802_2.	: YES	IEEE 802.2 Frame Type Enabled（IEEE802.2 の有効・無効）
FR_SNAP.	: YES	SNAP Frame Type Enabled（SNAP の有効・無効）
NCP_BURST_MODE.	: YES	NCP Burst Mode Enabled（NCP バースモードの有効・無効） *再起動が必要*
PSERVER_NDS_ TREE PSERVER_NDS_FILESERVER: PSERVER_NDS_DISTINGUISHED _NAME:	:	AXIS 5800 がログインする NDS ツリーまたはファイルサーバツリー内のプリントサーバオブジェクトへのパス
PSERVER_BINDERY1.	:	PSERVER Bindery 1（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY2.	:	PSERVER Bindery 2（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY3.	:	PSERVER Bindery 3（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY4.	:	PSERVER Bindery 4（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY5.	:	PSERVER Bindery 5（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY6.	:	PSERVER Bindery 6（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY7.	:	PSERVER Bindery 7（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY8.	:	PSERVER Bindery 8（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY9.	:	PSERVER Bindery 9（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY10.	:	PSERVER Bindery 10（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY11.	:	PSERVER Bindery 11（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY12.	:	PSERVER Bindery 12（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY13.	:	PSERVER Bindery 13（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY14.	:	PSERVER Bindery 14（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY15.	:	PSERVER Bindery 15（バインダリファイルサーバ名）
PSERVER_BINDERY16.	:	PSERVER Bindery 16（バインダリファイルサーバ名）
NPRINTER1.	:	NPRINTER/RPRINTER 1（プリントサーバ名とスロット番号）
NPRINTER2.	:	NPRINTER/RPRINTER 2（プリントサーバ名とスロット番号）
NPRINTER3.	:	NPRINTER/RPRINTER 3（プリントサーバ名とスロット番号）
NPRINTER4.	:	NPRINTER/RPRINTER 4（プリントサーバ名とスロット番号）
NPRINTER5.	:	NPRINTER/RPRINTER 5（プリントサーバ名とスロット番号）
NPRINTER6.	:	NPRINTER/RPRINTER 6（プリントサーバ名とスロット番号）
NPRINTER7.	:	NPRINTER/RPRINTER 7（プリントサーバ名とスロット番号）
NPRINTER8.	:	NPRINTER/RPRINTER 8（プリントサーバ名とスロット番号）

--- NetBIOS/NetBEUI MENU

LSLM_ENB.	: YES	NetBIOS/NetBEUI Enabled（NetBIOS/NetBEUI 印刷の有効・無効）
NB_FR_TYPE.	: FR_AUTO (FR_AUTO, FR_802_2, FR_DIX)	NetBIOS Frame Type（NetBIOS フレームタイプ） *再起動が必要*
LPRINT_1.	: AX100000.LP1	Name Printer 1（プリンタ 1 の名前）
LLOGIC_1.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 1（プリンタ 1 の論理プリンタ）
LPRINT_2.	: AX000000.LP2AX100086.LP2	Name Printer 2（プリンタ 2 の名前）
LLOGIC_2.	: PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 2（プリンタ 2 の論理プリンタ）
LPRINT_3.	: AX100086.CM1	Name Printer 3（プリンタ 3 の名前）
LLOGIC_3.	: PR3 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1,LPT2)	Logical Printer for Printer 3（プリンタ 3 の論理プリンタ）
LPRINT_4.	:	Name Printer 4 Name（プリンタ 4 の名前）
LLOGIC_4.	: PR4 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1,LPT2)	Logical Printer for Printer 4（プリンタ 4 の論理プリンタ）
LPRINT_5.	:	Name Printer 5（プリンタ 5 の名前）
LLOGIC_5.	: PR5 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 5（プリンタ 5 の論理プリンタ）
LPRINT_6.	:	Name Printer 6（プリンタ 6 の名前）
LLOGIC_6.	: PR6 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 6（プリンタ 6 の論理プリンタ）
LPRINT_7.	:	Name Printer 7（プリンタ 7 の名前）
LLOGIC_7.	: PR7 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 7（プリンタ 7 の論理プリンタ）
LPRINT_8.	:	Name Printer 8（プリンタ 8 の名前）
LLOGIC_8.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 8（プリンタ 8 の論理プリンタ）

--- BLUETOOTH MENU

BT_ENABLED.	: YES	Bluetooth Printing Enabled（Bluetooth 印刷の有効・無効）
BT_PORT_1.	: LPT1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, OFF)	Bluetooth Printer Port 1（Bluetooth プリンタポート 1）
BT_PORT_2.	: LPT2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, OFF)	Bluetooth Printer Port 2（Bluetooth プリンタポート 2）

--- APPLETALK MENU

ATLK_ENB.	: YES	AppleTalk Enabled（AppleTalk 印刷の有効・無効）
ATK_ZONE.	:	AppleTalk Zone（AppleTalk ゾーン）
ZONER_EN.	: YES	HP Zoner Enabled（日本語環境では未対応）
ATK_FONT.	: DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL)	Font （PostScript フォントセット）
AUTO_DT_PRIN	: DEFAULT: ENABLED	Auto-Detect Printer Type（日本語環境では未対応）
APRINT_1.	: AXIS100000_LPT1	Name Printer 1（プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号）
ATYPE_1.	: LaserWriter	Type Printer 1（プリンタ 1 のタイプ）
ALOGIC_1.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 1（プリンタ 1 の論理プリンタ）
BINARY_TYPE_1.	: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Binary Protocol for APRINT_1（プリンタ 1 のバイナリプロトコル）
APRINT_2.	: AXIS100086_LPT2	Name Printer 2（プリンタ 2 の名前）
ATYPE_2.	: LaserWriterLaserWriter	Type Printer 2（プリンタ 2 のタイプ）
ALOGIC_2.	: PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Logical Printer for Printer 2（プリンタ 2 論理プリンタ）
BINARY_TYPE_2.	: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Binary Protocol for APRINT_2（プリンタ 2 のバイナリプロトコル）

```
---  PRINTER1 MENU
```

PR1_OUT.	: LPT1 (NON, LPT1,LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR1_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR1_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR1_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port（情報のリードバック）
PR1_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR1_STR.	:	String Substitutions（文字列の置換）
PR1_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR1_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR1_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR1_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR1_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript のページサイズ）
PR1_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR1_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format （PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR1_FONT.	:	PostScript Font（PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

```
---  PRINTER2 MENU
```

PR2_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR2_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR2_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR2_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read back Port（情報のリードバック）
PR2_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR2_STR.	:	String Substitutions（文字列の置換）
PR2_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR2_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR2_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR2_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR2_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript ページサイズ）
PR2_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR2_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format （PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR2_FONT.	:	PostScript Font （PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

--- PRINTER3 MENU

PR3_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR3_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR3_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR3_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port（情報のリードバック）
PR3_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR3_STR.	:	String Substitutions（文字列の置換）
PR3_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR3_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR3_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR3_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR3_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript ページサイズ）
PR3_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR3_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format （PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR3_FONT.	:	PostScript Font（PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

--- PRINTER4 MENU

PR4_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR4_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR4_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR4_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port（情報のリードバック）
PR4_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR4_STR.	:	String Substitutions（文字列の置換）
PR4_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR4_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR4_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR4_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR4_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript ページサイズ）
PR4_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR4_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format （PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR4_FONT.	:	PostScript Font（PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

--- PRINTER5 MENU

PR5_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR5_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR5_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR5_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port（情報のリードバック）
PR5_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR5_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions（文字列の変換）
PR5_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR5_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR5_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR5_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR5_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript ページサイズ）
PR5_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR5_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format （PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR5_FONT.	:	PostScript Font（PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

--- PRINTER6 MENU

PR6_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR6_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR6_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR6_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port（情報のリードバック）
PR6_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR6_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions（文字列の置換）
PR6_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR6_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR6_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR6_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR6_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript ページサイズ）
PR6_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR6_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format（PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR6_FONT.	:	PostScript Font（PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

--- PRINTER7 MENU

PR7_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR7_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR7_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR7_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port（情報のリードバック）
PR7_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR7_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions（文字列の変換）
PR7_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR7_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR7_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR7_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR7_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript ページサイズ）
PR7_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR7_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format （PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR7_FONT.	:	PostScript Font（PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

--- PRINTER8 MENU

PR8_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2)	Physical Port（物理ポート）
PR8_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2)	Secondary Printer（第 2 プリンタ）
PR8_WAIT.	: YES	Wait on Busy（ビジー時の待機の有効・無効）
PR8_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port（情報のリードバック）
PR8_BEF.	:	String Before Print Job（プリントジョブ前の文字列）
PR8_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions（文字列の置換）
PR8_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion（日本語環境では未対応）
PR8_FILT.	: POSTSCR (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation（プリンタ言語の変換）
PR8_AFT.	:	String After Print Job（プリントジョブ後の文字列）
PR8_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled（16 進ダンプモードの有効・無効）
PR8_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size（PostScript ページサイズ）
PR8_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation（PostScript のページの向き）
PR8_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format （PostScript ページフォーマット） *(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)*
PR8_FONT.	:	PostScript Font（PostScript フォント / 指定がない時は Courier）

--- LPT1 Menu

L1_CENTR. : HISPEED (IBM_PC, STNDRD, FAST, HISPEED)	Centronics Interface Timing LPT1（LPT1 セントロニクスのタイミング）
L1_BSYTM. : 60	Busy Status Time-Out LPT1（LPT1 ビジーステータスのタイムアウト /0 の場合すべてのステータスレポートは無効）
L1_MGM_INFO. : AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information LPT1（LPT1 プリンタ管理情報の有効・無効）
L1_COMMENT. :	Optional user comment describing the printer at LPT1（LPT1 プリンタのユーザによるコメント）
L1_BIDIR. : AUTO (DISABLE, AUTO)	LPT1 Bi-directional printing（LPT1 の双方向印刷の有効・無効）

--- LPT2 Menu

L2_CENTR. : HISPEED (IBM_PC, STNDRD, FAST HISPEED)	Centronics Interface Timing LPT2（LPT2 セントロニクスのタイミング）
L2_BSYTM. : 60	Busy Status Time-Out LPT2（LPT2 ビジーステータスのタイムアウトが 0 の場合すべてのステータスレポートは無効）
L2_MGM_INFO. : AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information LPT2（LPT2 プリンタ管理情報の有効・無効）
L2_COMMENT. :	Optional user comment describing the printer at LPT2（LPT2 プリンタのユーザによるコメント）
L2_BIDIR. : AUTO (DISABLE, AUTO)	LPT2 Bi-directional Printing（LPT2 の双方向印刷の有効・無効）

--- e-mail Menu （この機能は日本語環境では未対応です）

EMAIL_NOTIFICATION: YES	e-mail Notification（電子メール通知の有効・無効）
REPLY_ADDRESS:	Network Administrator e-mail address（ネットワーク管理者のメールアドレス）
PAPER_JAM_ADDRESS:	e-mail address of paper-jam Administrator（紙詰まりの連絡先のメールアドレス）
OUT_OF_PAPER_ADDRESS:	e-mail address of Out-Of-Paper Administrator（用紙切れの連絡先のメールアドレス）
TONER_LOW_ADDRESS:	e-mail address of Toner-Low Administrator（トナー残量の連絡先のメールアドレス）
NO_TONER:ADDRESS:	e-mail address of No-Toner Administrator（トナー交換の連絡先のメールアドレス）
PRINTER_OFFLINE_ADDRESS:	e-mail address of Printer-Offline Administrator（プリンタ確認の連絡先のメールアドレス）

付録 B　保証について

AXIS 5800 は、お買い上げ頂いてから一年間、センドバックによる無償保証が付いております。ただし、製品に付属の「お客様登録カード」をお送り頂いた方のみのサポートとなります。また、有償で保証期間を一年間だけ延長することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、保証期間終了後の故障に関しては、実費負担となります。

付録 C　用語集

AIX　Advanced Interactive eXecutive。IBM 社の様々なコンピュータ上で動作する IBM 社の UNIX オペレーティングシステム。

ARP　Address Resolution Protocol。同一ネットワークセグメント上にある他のホストの物理アドレスを調べるための TCP/IP プロトコル。UNIX、Windows 95、98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me で利用できます。ARP は、ルータを越えて使用できません。

BOOTP　BOOT Protocol。ホストの IP アドレス等のスタートアップ情報を設定するための TCP/IP プロトコル。UNIX で利用可能。BOOTP を利用するには、システム上に BOOTP デーモンが必要。BOOTP デーモンに対して要求が行われると、ブートテーブル中、目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索され、エントリが見つかった場合はそのホストの IP アドレスが設定される。

Bluetooth　Bluetooth は、世界的に利用可能な 2.4GH z の周波数帯を利用した無線インターフェイスで、固定、またはモバイル環境のデータおよび音声通信を容易にするワイヤレステクノロジ。Bluetooth テクノロジは低コストな近距離間の無線リンクをベースとし、PDA、プリンタ、LAN などを結ぶケーブルによる接続を必要としない。

BSD　Berkeley Software Distribution。米国カリフォルニア大学バークレー校が配布を行ってきた UNIX オペレーティングシステム。

config ファイル　プリントサーバのメモリ内にあり、プリントサーバの機能を決定するすべてのパラメータを保持するファイル。config ファイルを編集する（パラメータ設定を変更する）ことにより、ネネットワークでの印刷用途に合わせてプリントサーバを設定することが可能。

DHCP　Dynamic Host Configuration Protocol。DHCP は Windows NT と UNIX システムで使用することができ、中央のプール領域から一時的な IP アドレスを自動的に割り当てる。選択された DHCP サーバは、要求を行ったホストに未使用の IP アドレスを自動的に割り当て、設定する。また、その IP アドレスの有効期間を定義する確認データを提供。

DHCP を有効に利用するため、AXIS 5800 は Windows NT ネットワークで利用可能な WINS（Windows Internet Name Service）に対応。

DNS　Domain Name Service。ネットワーク上でホスト名と IP アドレスを対応させる機能。

FTP　File Transfer Protocol。ネットワーク経由でファイルを転送するための TCP/IP プロトコル。

HTML　Hypertext Markup Language。WWW（World Wide Web）やその他のハイパーテキストドキュメントを作成するための標準的なハイパーテキスト言語。

HTTP　Hypertext Transfer Protocol。Web ベースの通信のための TCP/IP プロトコルです。

IP　Internet Protocol。IP アドレスを基に、外に出て行くメッセージをルーティングし、中に入ってくるメッセージを認識することにより、パケット転送を統制するセッション層の TCP/IP プロトコル。

IPP　Internet Printing Protocol。インターネット上のリモートプリンタに印刷を実行するためのプロトコル。IPP を利用すれば、インターネットに接続しているユーザが、インターネット上に接続されているプリンタに印刷ジョブを送ることが可能。IPP はシステムに依存しないプロトコルで、TCP/IP に対応する LAN や WAN で使用できる。

LED　Light Emitting Diode。発光ダイオード。

LPD　Line Printer Daemon。ホスト間のプリントジョブを転送するためのプロトコル。UNIX システムで推奨される方法。ただし、いくつかの System V 系の UNIX システムでは対応していない。

MIB Management Information Base。ネットワーク設定を監視したり、また変更するために SNMP などが利用するネットワーク構成情報のデータベース。

NCP NetWare Core Protocol。NetWare クライアントは NCP を利用してサーバのサービスを要求し、サーバは NCP を利用してファイルサービスや印刷サービスのようなサービスを提供する。

NDS NetWare Directory Services。NetWare サーバやボリュームのようなネットワークリソースを管理する。

RARP Reverse Address Resolution Protocol。UNIX ネットワークで IP アドレスを設定する TCP/IP プロトコル。RARP を利用するには、ネットワーク上で RARP デーモンが必要となる。RARP は、同一ネットワーク上でのみ動作する。RARP デーモンに対して要求が行われると、物理アドレステーブル中に目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索され、エントリが見つかるとそのホストの IP アドレスが設定される。

RISC Reduced Instruction Set Computing。限られた数しかアセンブリ言語命令を持たないプロセッサ。

SAP Service Advertising Protocol。ネットワークで利用する名前を通知するプロトコル。たとえば、ファールサーバがその存在をネットワーククライアントに対して知らせるために利用する。

SNMP Simple Network Management Protocol。ネットワーク上のホストやデバイスを管理、監視する TCP/IP プロトコル。

TCP Transmission Control Protocol。TCP/IP プロトコルスタック中で利用されるコネクション指向のトランスポートレベルプロトコル。

TFTP Trivial File Transport Protocol。FTP プロトコルを簡素化したもので、プリントサーバが自動的に config ファイルをダウンロードするのに使用する。

UNIX 元々、AT&T で開発された 32 ビットマルチタスク・マルチユーザオペレーティングシステム。

URL　Uniform Resource Locator。インターネット上で公に利用可能な情報の場所を指定する方法。

WINS　Windows Internet Name Service。動的に割り当てられた IP アドレスに、NetBIOS 名をマップする NetBIOS ネームサーバ。

ウィザード　作業を自動化するためにダイアログを利用してユーザを支援する仕組み。ウィザードは、複雑で経験を必要とする作業を行う手助けとなり、なおかつ経験のあるユーザに対しても操作を速やかに行うことを可能にする。

ファームウェア　ファームウェアは読み取り専用のメモリに格納されるプログラムで、コンピュータデバイスに常駐する一部となる。ファームウェアは他のソフトウェアと同様に配布され、プリントサーバのフラッシュメモリ内に、専用のユーザインターフェイスを利用してインストールすることが可能。

フラッシュメモリ　プリントサーバのファームウェアは、フラッシュメモリの中に格納される。フラッシュメモリは、シリコンチップで提供され、その他の ROM デバイスと同様に電源が落とされた後でもデータの内容を保持する。プリントサーバ搭載のフラッシュメモリの特徴は、保存されているデータを消去し、書き直すことができるという点で、特に部品の交換などを必要としないため、新しいファームウェアがリリースされると、ネットワーク経由でプリントサーバにフラッシュローディングすることが可能。

論理プリンタ　論理プリンタは、ネットワークと物理プリンタ間のフィルタとして振る舞う。論理プリンタは、ユーザには付加的な性質を持った通常のプリンタとして見える。たとえば、UNIX ワークステーションは、キャリッジリターン（CR）とラインフィード（LF）を必要とする共有プリンタに対し、ラインフィード（LF）しか送信しない場合がある（UNIX の改行はラインフィード一文字であるため）。論理プリンタにより、キャリッジリターン（CR）を追加して、この問題を解決することが可能。

索引

数字

16 進ダンプモード　76

A

Account ファイル　79, 80
Auto-IP　7, 16
axinstall　50
AXIS MIB　84
AXIS NetPilot　40
AXIS Print Monitor　23
AXIS Wireless Port　57, 58
AXIS Wireless Printing Utility　56

B

Bluetooth Software Suite　56
Bluetooth 印刷　55
Bluetooth プリンタ　57
Bluetooth を有効にする　67

C

config ファイル　61, 99

D

DDNS　13

E

ETRAX 100　5

F

FTP　77
　UNIX　53

I

IPP　8, 87
IP アドレスの設定
　ARP　16, 17
　BOOTP　19
　DHCP　15
　Macintosh　46
　RARP　18

L

LPD　52
　UNIX　52

N

NetWare アドミニストレータ　85
Network インディケータ　4

P

PCONSOLE　85
Power インディケータ　4
PROS A　53
PROS B　53

R

Reverse Telnet　54

S

SNMP　83
Status ファイル　79, 82

T

Telent　80

W

WINS　13

あ

アップグレード　91

い

インストール　20

か

管理者モード　62, 65

け

言語の設定　64

こ

工場出荷時のデフォルト設定　4, 94

さ

再起動ボタン　66

せ

設定ウィザード　64
設定ファイルの編集
　FTP　77
セレクタ　43

そ

双方向印刷　76

て

テストページ　4, 41, 93
テストボタン　4, 93

と

トラブルシューティング
　Bluetooth　68

な

内部 Web ページ　62

ね

ネットワークコネクタ　4
ネットワーク速度　8, 69
ネットワークに接続　10
ネットワークプリンタ名　69

は

ハードウェア　3
パスワード　63, 99
パラメータ　99
パラメータリスト　4, 66
　印刷　93

ふ

ファームウェア　6, 91, 114
ファクトリデフォルトボタン　66
物理アドレス　12
フラッシュメモリ　114
プリンタポート　4
プリントキュー　41
プリントサーバモード　42

ほ

ホスト名　13

も

文字列の置換　72

ゆ

ユーザ ID　63
ユーザモード　62, 63

り

リセット　82
リモートプリンタモード　42

ろ

論理プリンタ　70